

宮整広報

CONTENTS

副会長挨拶	副会長 目時 誠	1
公益社団法人日本柔道整復師会 第34回東北学術大会宮城大会 開催報告		2
生活機能向上事業		
(1) みやぎ「復興支援人」協働プロジェクト～はればれ教室～ 開催報告		6
(2) 平成25年度 第10回いい日いい汗栄養まつり 参加報告		11
(3) 介護保険研修会 開催報告		12
(4) 介護予防事業部設立報告		15
平成25年度第1回臨時総会 開催報告		16
保険部近況報告		
(1) 平成25年度保険全体研修会 開催報告		18
(2) 公益社団法人日本柔道整復師会 全国保険部長会議 参加報告		19
(3) 健康保険組合連合会宮城連合会情報交換会報告		19
(4) 損害保険料率算出機構情報交換会報告		20
柔道大会結果報告		
(1) 東北ブロック会柔道大会		21
第37回厚生労働大臣旗争奪 日整全国柔道大会予選会		
日本柔道整復師会東北ブロック会 第21回東北少年柔道大会		
第3回日整全国少年柔道形競技会 東北ブロック会予選会		
(2) 厚生労働大臣旗争奪 第37回日整全国柔道大会		26
(3) 文部科学大臣杯争奪 第22回日整全国少年柔道大会		28
日本柔道整復師会東北ブロック会 会長会および四部会 出席報告		30
平成25年度SVM地域代表者会議 報告		33
第22回日本柔道整復接骨医学会学術大会 参加報告		34
会員投稿「みやぎの・まつり」参加報告		36
トピックス		37
レセプト業務効率化の検討について		43
新入会員紹介		44
訃報		46
SVM活動報告 (H25.7～H25.11)		47
会務報告 (H25.7～H25.11)		49
宮城県「柔道整復学」構築学会 賛助会員		51
宮城県「柔道整復学」構築学会 投稿・発表規定		61
編集後記		64

副会長挨拶

ご挨拶

公益社団法人宮城県柔道整復師会 副会長 日時 誠

平成二十五年の年末にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本年は、昨年末に発足いたしました安倍内閣が七月の参議院選を圧勝した結果、ねじれ国会が解消され、政権が絶対安定多数に達した年となりました。緊急全国世論調査（読売新聞）でも、ねじれ解消への支持が六十一%にも達しましたが、それは、

いわゆる足の引っ張り合いばかりで遅々として進まない政治への、国民からの強烈なダメ出しだったといえるでしょう。今、国民が求めているのは、まさに、法案成立・政策決定・政策遂行といった一連の流れに対するスピードアップ、ブレのない政治以外の何物でもないであろうと強く実感いたします。

同様のことは柔整業界においてもいえるわけですが、奇しくも本年は、皆様ご周知の通り、日整並びに本会の公益社団としての初の役員選挙の年でもありました。日整では、工藤鉄男新会長のもと、その最重要ポストともいえる総務部長には、本会前

会長の豊嶋良一先生が就かれ、今日まで山積されていた業界関連の公務を凄まじい日程でこなされております。

す。また、本会におきましては、櫻田裕新会長の明確なビジョン発令に沿い、次代のリーダー育成、執行担当部間の横の連携強化、業界関連団体との積極的な対話等々を重点遂行事項として、より機能的で活動的な執行部体制作りが急ピッチで進められております。

まさに、このような日整豊嶋総務部長、本会櫻田会長の両輪の取組み姿勢こそ、全国に組織の在り方を示すものであり、他ならぬ会員の皆様にも有形無形の利益をもたらすものであると確信しております。

そのような環境の中にある役員の一員として、私自身も「行動する事は少しも恐れはしない 恐れるのは、ただ無為に時を過ごす事だけだ」なる名言（チャーチル）を肝に銘じ、大変微力ながら、精一杯尽力させていただきますので、折に触れ、ご指導、ご鞭撻の程をどうぞよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、会員の皆様並びにご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたし、ご挨拶とさせていただきます。良いお年をお迎えください。



公益社団法人日本柔道整復師会 第34回 東北学術大会宮城大会 開催報告

平成25年7月21日(日)
仙台国際センター



公益社団法人 宮城県柔道整復師会
櫻田 裕 会長



公益社団法人 日本柔道整復師会
工藤 鉄男 会長

平成二十五年七月二十一日(日)
仙台国際センターにおいて第三十四
回東北学術大会宮城大会が開催され
ました。
今回の大会は、東日本大震災の
発生から二年が経過しての再開とな



伊達家34世 仙台伊達家18代当主 伊達 泰宗 様

ります。各被災地では復興の遅れが
指摘されておりますが、県内外か
ら約五六〇人もの方々が訪れ、待ち
に待った大会と言えたのではないで
しょうか。
大会は、開会の時点ですでに満席
となり急遽増席し、皆様の本学会に
対する熱意が伝わる開会式となりま
した。
〈特別講演〉
「歴史から学ぶ」
伊達家三十四世
仙台伊達家十八代 当主
伊達 泰宗 様



一般市民の方々も多数参加される中、ご講演をいただき、仙台（伊達藩）の歴史を垣間見ることができました。

〈ランチオンセミナー〉

「柔道整復師と介護保険について」

— 機能訓練指導員として現場で直ぐに実践できる運動実技を含めた必要な Skill —

（公社）日本柔道整復師会保険部
介護対策課 三谷 誉 先生

藤田 正一 先生

セミナーでは、柔道整復師が地域支援事業に参入した際の運動実技を含めた必要な Skill を、現場で実践できるようにご教授いただきました。



公益社団法人 日本柔道整復師会 保険部
介護対策課 三谷 誉 先生

講演当初から、盛況のため増席となり、介護に対する関心の高さを窺い知ることができました。



公益社団法人 日本柔道整復師会 保険部
介護対策課 藤田 正一 先生

〈研究発表〉

陳旧性足関節内反捻挫を有する患者における身体各部の主訴（疼痛）について

青森県 谷川 弘 先生
シンスプリントに対する D S I S
テーピングの応用

秋田県 森元 利和 先生

特徴的な姿勢をとる一側肩筋部痛
四症例からの一考察

岩手県 田頭 一志 先生

TPP規制緩和と医療の行方

山形県 原田 洋典 先生

構造的アンバランスが障害発生の

メカニズムに及ぼす力学的影響

福島県 嶋原 一信 先生



研究発表者



宮城県 「柔道整復学」 構築研究委員会
田村 博 委員

いわゆる「柔整捻挫・挫傷」に関するアンケート結果についての考察
—上肢について—

宮城県

宮城県「柔道整復学」

構築研究委員会

委員

田村 博 先生

委員長

岩佐 和之 先生

前副委員長

新井田一吏 先生

〈実技発表〉

肩周辺の過剰緊張(肩こりを含む)

への臨床実技

青森県

千葉

歩

先生

足アーチテープの効用

秋田県 佐藤 智之 先生

有窓テーピングの応用

岩手県 小山田徹男 先生

即、その場で痛みを取るキネシオ

テーピング法

山形県 奥山 治朗 先生

足踵組織 (heel pad) の退縮や萎

縮による踵骨痛 (painful heel) に

対するテーピング法の工夫・第2報

宮城県 岩佐 和之 先生



宮城県 岩佐 和之 会員 実技発表

足関節捻挫の再発予防における
テーピング方法の一考察「中間位固
定と足の形状を考える」

宮城県

藤井

裕文

先生



宮城県 藤井 裕文 会員 実技発表

研究発表者、実技発表者は、以上の通りです。
 研究発表・実技発表は、普段の施術にすぐにも役立つ内容のものが多く、大変参考になりました。
 研究発表、実技発表、ランチヨンセミナーでは、立ち見が出る程の熱気あふれる中、盛会裡に終了することができました。



実技発表者

今回の大会は、全体を通して大変興味深い発表が多く、出席された方々は、熱心に研鑽を積んでいました。
 今後も、学術研鑽の場に積極的に参加されますよう期待いたします。

文責 学術部長 千葉 昌彦



〈医療機器展示会〉
 東北ブロック会主催の最新医療機器展示会を共催しました。

生活機能向上事業

第4回・第5回

みやぎ「復興支援人」協働プロジェクト はればれ教室 ～ 開催報告

本会公益事業のみやぎ「復興支援人」協働プロジェクトはればれ教室は、第四回を九月に石巻会場、第五回を十月に気仙沼会場で開催いたしました。

この事業は、平成二十二、二十三年度に実施した「健康いきいき運動教室」（柔道整復師が行なう運動機能低下予防教室）の発展型として、平成二十四年度から「介護予防初期支援多業種ネットワーク事業」へ形態を変え、今年で二年目の事業とな

ります。

これは、東日本大震災後の被災地における「認知症及び心のケア」「口腔機能低下予防」「低栄養問題」「運動機能低下に伴う閉じこもり、うつ病」といった生活不活発病が大きな課題となっていることに対し、いち早く医療現場の専門職が「復興支援人」として、日常生活圏域において、被災者の方々の生活再建を支援し、被災者自身の復興の足掛かりとなることを目的とするものです。

医療保険業務に携わる医師、歯科医師、薬剤師、看護師、栄養士、歯科衛生士、柔道整復師などの多業種が、協力・行動（協働）するという趣旨のもと、日本初の「介護予防初期支援多業種ネットワーク事業」として企画・開催したものです。

平成二十五年度も本会が主催者となり、宮城県、石巻市、気仙沼市、宮城県看護協会、宮城県栄養士会、宮城県歯科衛生士会をはじめ多数の共催・後援をいただき、各地域の会員の協力のもと、本事業が無事成功裡に終了しましたことを報告いたします。

文責 介護企画推進室 室長

松元 浩二



開催日	開催場所	講話・実技内容等	参加人数
平成25年 9月1日 (日)	石巻市総合体育館 石巻市	①元気・長生きのコツ 「ココロもからだも生き生き元気に過ごすために…」 講師：公益社団法人 宮城県看護協会 保健師 早坂 律子先生 ②食べて健康 「いつまでも元気で生き生きと生活できるため」 講師：公益社団法人 宮城県栄養士会 尚綱学院大学非常勤講師 片倉 成子先生 ③お口と健康 「口腔ケアでさわやか生活」 講師：宮城県歯科衛生士会 石巻支部 歯科衛生士 清水 純子先生 ④足腰の元気 「膝痛・腰痛予防！健康いきいき運動教室」 講師：公益社団法人 宮城県柔道整復師会 介護企画推進室 副室長 若井 晃先生	109名
平成25年 10月6日 (日)	気仙沼市民健康管理センター 気仙沼市	①元気・長生きのコツ 「ココロもからだも生き生き元気に過ごすために…」 講師：公益社団法人 宮城県看護協会 保健師 熊谷 和江先生 ②食べて健康 「いつまでも元気で生き生きと生活できるため」 講師：公益社団法人 宮城県栄養士会 尚綱学院大学非常勤講師 片倉 成子先生 ③お口と健康 「口腔ケアでさわやか生活」 講師：宮城県歯科衛生士会 気仙沼支部 歯科衛生士 和田 初穂先生 ④足腰の元気 「膝痛・腰痛予防！健康いきいき運動教室」 講師：公益社団法人 宮城県柔道整復師会 介護企画推進室 室員 早坂 健先生	108名

はればれ教室 石巻市総合体育館



公益社団法人 宮城県柔道整復師会
櫻田 裕 会長

はればれ教室 石巻市総合体育館



宮城県歯科衛生士会 石巻支部
歯科衛生士 清水 純子 先生



公益社団法人 宮城県看護協会
保健師 早坂 律子 先生



公益社団法人 宮城県柔道整復師会
若井 晃 先生



はればれ教室 気仙沼市民健康管理センター



各団体による健康相談、質問コーナー



公益社団法人 宮城県柔道整復師会
櫻田 裕 会長



公益社団法人 宮城県看護協会
保健師 熊谷 和江 先生



公益社団法人 宮城県栄養士会
尚絅学院大学非常勤講師 片倉 成子 先生

はればれ教室 気仙沼市民健康管理センター



公益社団法人 宮城県柔道整復師会
早坂 健 先生



ミズノ株式会社 足型診断&足と靴の相談会



宮城県歯科衛生士会 気仙沼支部
歯科衛生士 和田 初穂 先生



公益社団法人 宮城県柔道整復師会 気仙沼地区の先生方

平成25年度 第10回 いい日いい汗栄養まつり 参加報告

平成二十五年十一月二十三日（土）

祝日）ネットU仙台市情報産業プラザ（アエル五階多目的ホール）において「第十回いい日いい汗栄養まつり」が開催されました。

この催しは、公益社団法人宮城県栄養士会が主催となり、歯科医師会や薬剤師会、看護協会、臨床検査技師会などが参加して、県民の健康の一助となることをねらいに開催されました。昨年に引き続き、本会も共催団体として参加しました。

【宮城県柔道整復師会ブースの内容】

柔道整復師による、首・肩・腰・膝などの痛み健康相談

【本会からの参加者】

保険部 若井 晃 会員
藤井 裕文 会員
越後 勇人 会員
早坂 健 会員

【活動方法】

1. 首・肩・腰・膝などの運動器に対する健康相談とアドバイス
2. 本会リーフレットの配布
3. 協賛品の配布（宮城県「柔道整復学」構築学会賛助会員からの協賛品）
4. 会員（施術所）の紹介
5. 本会活動内容、柔道整復パネル掲示

本会のブースには多数の一般市民来場者が訪れ、からだの痛みなどの

困り事の相談をされました。対応した保険部員が昼食をとる時間もないほどの盛況ぶりです。部員が親身に耳を傾けたことに対して感謝の言葉をいただきました。この栄養まつりでは、多くの方々に柔道整復師に対する理解が得られたと思います。また、参加した様々な職能団体とも円滑な相互交流を図ることができましたことをご報告いたします。

最後に今回、宮城県「柔道整復学」構築学会賛助会員各社【グローバル、カナケン、日本プロジェクト、パールシャープ、ダイヤ工業、順不同】から多数の協賛品を提供していただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

文責 保険部

介護保険研修会 開催報告

平成二十五年十一月十七日（日）
仙台医健専門学校を会場に、平成
二十五年介護保険研修会が開催さ
れました。

平成二十七年介護保険改正に伴
い、介護保険制度の抜本的な見直し
が行われることとなり、様々なシス



公益社団法人 宮城県柔道整復師会
櫻田 裕 会長

テムの変更が、厚生労働省所管社会
保障審議会介護保険部会にて進めら
れています。

これまで介護企画推進室は、会
員（柔道整復師）が機能訓練指導員
という資格のもとで、介護事業に参
入する最終目標としての通所介護施
設（デイサービス等）開設に向けた
様々な研修会を開催してきました。
今後、平成二十七年改正が行なわ
れると、柔道整復師が通所介護施設
（デイサービス等）を開設するため
のハードルがさらに高くなると予想
されます。

通所介護施設（デイサービス等）
開設を検討されている会員において
は、この介護保険制度改正前の今（一
年半）が参入のラストチャンスとな
りそうです。そのためには様々な準
備等が必要になるので、それに向け
た情報共有を目的に研修が行なわれ



ました。

今回は、宮城県保健福祉部 長寿
社会政策課より講師を派遣いただい
ての第一部、介護企画推進室による
第二部の構成で開催しました。

柔道整復師が機能訓練指導員と
して第8期介護保険事業計画の中で
の権益確保に向けた最終の取組みの
第一歩として実施した研修会でした

が、参加した会員六十六名は真剣に受講し、内容の濃い有意義な研修会となったことを報告します。

介護保険研修会内容

第一部「介護保険制度について」

講師 宮城県保健福祉部

長寿社会政策課 主幹

小玉 直文 様

- ①宮城県の高齢化の現状
- ②宮城県の高齢化の将来推計
- ③介護保険（要介護状態区分）
- ④介護保険（要介護等認定の全体の流れ）
- ⑤介護保険（一次判定の概要）

⑥宮城県における要介護・要支援者数の推移

室員 中川 裕章

早坂 健

⑦介護保険（俯瞰図）

1、広域サービスから地域密着型

⑧介護保険（費用の推移）

サービスへの変革

⑨介護保険（保険料の比較）

①背景

⑩介護保険制度改正のこれまでの取組（三年ごとの改正）

②第四十六回（八月二十八日）社会保障審議会介護保険部会

⑪介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律の概要

③第四十八回（九月十八日）社会保障審議会介護保険部会

⑫地域包括ケア体制（概要）

④平成二十六年までに開業しないといけない理由

⑬地域包括支援センターについて

⑤開業方法1

⑭宮城県における介護サービス事業所数

⑥開業方法2

⑮在宅と施設（特別養護老人ホームの整備）

⑦メリット

⑯別添資料 宮城県市町村別保険料（月額）一覧

⑧デメリット

第二部「平成二十七年度介護保険改正に伴う地域包括ケアの動向について」

2、地域支援事業 日常生活総合支援事業について

①柔道整復師が介護分野に参入するために

①地域支援事業

講師 介護企画推進室

②日常生活総合支援事業

副室長 若井 晃

3、地域ケア会議について

①第六期介護保険事業計画の策定に向けた準備

①「地域ケア会議」を活用した個別課題解決から地域包括ケアシステム実現までのイメージ

②「地域ケア会議」の五つの機能

②「地域ケア会議」を活用した個別課題解決から地域包括ケアシステム実現までのイメージ

③「地域ケア会議」の五つの機能

③「地域ケア会議」の五つの機能

④「地域ケア会議」の五つの機能

④「地域ケア会議」の五つの機能

⑤「地域ケア会議」の五つの機能

⑤「地域ケア会議」の五つの機能

⑥「地域ケア会議」の五つの機能

⑥「地域ケア会議」の五つの機能

⑦「地域ケア会議」の五つの機能

⑦「地域ケア会議」の五つの機能

⑧「地域ケア会議」の五つの機能

⑧「地域ケア会議」の五つの機能

⑨「地域ケア会議」の五つの機能

⑨「地域ケア会議」の五つの機能

⑩「地域ケア会議」の五つの機能

⑩「地域ケア会議」の五つの機能

- ④ 市町村における地域包括ケアシステム構築のプロセス（概念図）
 - ⑤ 地域包括ケアシステムの実現に向けた市町村への期待
 - ⑥ 地域ケア会議参入手法
 - ⑦ 宮城県の現状
 - ⑧ 当会公益事業（八つの特徴）
 - ⑨ 宮城県に要望書提出（参入）
- 4、地域包括ケアの住まい（地域）のあり方について
- ① 独居高齢者の推移
 - ② 認知症高齢者推移
 - ③ 地域包括ケアシステムの捉え方
 - ④ 高齢化の現状
 - ⑤ 都道府県別の高齢者人口の推移
 - ⑥ 国立社会保障人口問題研究所による将来見込み
 - ⑦ 新設住宅着工数の推移
 - ⑧ 住宅ストックの現状1、2
 - ⑨ 住宅のバリアフリー化の状況
 - ⑩ 高齢者向け住宅等の現状
 - ⑪ 高齢者向け住宅整備に関する方針
 - ⑫ 住み続けられる住まいの実現
 - ⑬ サービス付き高齢者向け住宅の登録事項



- ⑭ サービス付き高齢者向け住宅供給促進のための支援措置
- ⑮ 予算による支援措置
- ⑯ 融資等による支援措置の概要
- ⑰ 税制による優遇措置
- ⑱ サービス付き高齢者向け住宅に対する行政監督
- ⑲ 老人福祉法の特例

- ⑳ 平成二十四年度診療報酬改訂（在宅医療）
 - ㉑ 平成二十四年度診療報酬改訂（在宅歯科医療）
 - ㉒ 平成二十四年度診療報酬改訂（在宅薬剤管理指導業務）
 - ㉓ 民間住宅活用型住宅セフティ ネット整備事業
 - ㉔ 高齢者の住まいに関する情報提供
 - ㉕ 今後の高齢者住宅の需要予測
- 5、介護予防施策の方向性について
- ① 第5期介護保険改正
 - ② 介護予防初期支援の重要性
 - ③ 柔道整復療養費制度
 - ④ 柔道整復師の福祉支援と役割・目的
 - ⑤ 認知症5ヶ年計画「オレンジプラン」
 - ⑥ 公益社団法人 宮城県柔道整復師会 地域包括ケアシステム
 - ⑦ 「今後の介護予防施策の方向性について」の提案

文責 介護企画推進室 室長

松元 浩二

介護予防事業部 設立報告

趣旨

われわれ柔道整復師は、国民医療における部分医療従事者として地域医療に貢献しています。そして、介護保険制度においても機能訓練指導員として介護や介護予防の現場での活躍の機会が増えてきています。今後到来する高齢社会、地域包括ケアシステムの中で、地域における医療、介護、福祉の未来へのかけ橋として、今日まで地域での信頼、絆を構築してきた柔道整復師が適任であると確信しています。そのような情勢の中で、本会においても柔道整復師の職域拡大に向けて介護予防事業部を設立する運びとなりました。

背景

平成二十三年度に介護事業企画室が発足し、会員向け介護事業研修会

の開催により、柔道整復師の介護事業分野における質的向上を図ってきました。対外的には、多業種連携による「みやぎ「復興支援人」協働プロジェクト」はればれ教室への開催、仙台市地域支援事業「元気応援教室」の受託、日本柔道整復師会補助事業である訪問機能訓練事業、介護予防教室（一次予防）講師派遣事業等を実施し、行政機関および医療、介護、福祉の各団体との交渉、連携に日々努めてきました。今後、急展開が予想される介護分野において、本会の更なる組織強化が必要であると考えます。

事業内容

仙台市地域支援事業「元気応援教室」の运营管理、地域包括支援センターとの連絡調整、行政機関への提

出書類の作成・管理、会員向け介護関連研修会の運営を行います。

今後の展開として、柔道整復師が地域包括ケアシステムの中で、その地域の実情やニーズに、機能訓練指導員として、迅速、柔軟に対応できるように、本会の介護予防事業における組織化を進めていきます。

文責 介護企画推進室 室員

早坂 健

平成25年度 第1回臨時總會開催報告

平成25年10月20日(日) 開催
フォレスト仙台



公益社団法人 宮城県柔道整復師会
櫻田 裕 会長 挨拶

会長挨拶要旨

五月十二日に現執行部を拝命してから五ヶ月経過。その間、五月末に宮城県「柔道整復学」構築学会、七月十九日、二十日に東北ブロック柔

平成二十五年十月二十日(日)
フォレスト仙台において、平成二十五年第一回臨時總會が開催されました。
芦澤卓也理事の司会進行のもと、松元浩二副会長の開会宣言に続いて櫻田裕会長から挨拶がありました。



道大会、日整学術大会を開催。皆様の理解と協力のもと盛会裏に終了できました。

本日、臨時總會の開催は予定していなかったが、柔道整復師過剰の中、我々の業界が日々マスコミをにぎわしている現状を踏まえ、四月から公益社団法人として会務を執行しているが、外部、特に保険者から指摘を

受けている。それに応える目的で定款変更することを理解いただきたい。

会長挨拶に続いて、議長には佐々木裕忠会員が選出され、副議長に中島正彦会員を指名。

総会員数三八二名に対し、出席三〇四名、委任状三十六名、計三四〇名で定款第三章第十八条、正会員の過半数を上回る出席により本総会成立を宣言し議事に入りました。

第一号議案「定款一部変更について」議場承認三〇三名、委任三十六名、計三三九名の賛同に、定款第三章第二十一条第二項により、正会員の三分の二以上にあたる多数の承認をもって可決されました。議事が終了し、目時誠副会長による閉会の辞で平成二十五年第一回臨時総会は滞りなく閉会となりました。

文責 総務部



保険部近況報告

一、平成二十五年度保険全体研修会 開催報告

平成二十五年十月二十日(日)フオレスト仙台において、平成二十五年度保険全体研修会が開催されました。

東北厚生局 指導監査課から「柔道整復師の施術に係る療養費について」と題し指導を受けました。



公益社団法人 宮城県柔道整復師会
若井 晃 保険部長



【研修内容】

1. 健康保険法における療養の給付について(健康保険法第63条第1項、健康保険法第87条)
2. 柔道整復師の保険給付
3. 柔道整復師の施術に係る療養費の改定等について「平成二十五年改正」、「平成二十二年改正」
4. 医療保険における柔道整復師の責務(協定書別紙第2章7、8)
5. 保険施術の取扱いについて(協定書別紙第3章14、17、20、23)
6. 領収証及び明細書の交付(協定書別紙第3章18)
7. 指導・監査について(協定書第8章38、39)
8. 事務手続(届出書様式1号、様式2号、様式2号の2、様式4号)

【宮城県柔道整復師会保険部から情報提供】

1. 自賠責調査による件
2. 当会に寄せられた苦情について
3. 全国保険部長会議に提出された質問・要望について

【宮城県柔道整復師会介護事業企画推進室から情報提供】

（公社）日本柔道整復師会 保険部 介護対策課が作成した「地域包括ケアシステムは柔道整復師にどのような影響を与えていくのか？」

内容が盛りだくさんでしたが、大変有意義な研修会となりました。

今回の保険全体研修会の受講者は三三五名で、八十五%の受講率でした。東北厚生局の指示により、当日の「受講会員名簿」は東北厚生局に提出したことを報告します。

二、（公社）日整 全国保険部長会議 参加報告

平成二十五年十月六日（日）、日本柔道整復師会館において全国保険部長会議が開催されました。

全国四十七都道府県の社団保険部長が一堂に会して、各県が抱えている問題や現在の日本柔道整復師会の動向などについての意見交換が行われました。

会議冒頭では、健康保険組合連合会医療部長から「健保組合の現状と療養費」と題して、医療制度改革、健保組合の財政状況、療養費についての講演がありました。

その後、東京都柔道接骨師会広報部長から「柔療療養費の動向について」と題して、東京都柔道接骨師会広報部が調査した情報についての説明がありました。

続いては、日整保険部員から「各県で抱えている諸問題について」の報告があり、それに関しての多岐にわたる意見交換が行われました。

各県の厳しい現状を知り、宮城県での各保険者、厚生局、行政など関係団体との良好な関係は、これまでの宮城県柔道整復師会会員一人一人の努力と歴代の役員により築かれた結果であると改めて感じるとともに、この良好な関係をさらに強固にすることが責務であると認識しました。

三、健康保険組合連合会宮城連合会 情報交換会 報告

平成二十五年十月二十九日（火）KKRホテルにおいて健康保険組合連合会宮城連合会（以下、健保連宮城）と公益社団法人宮城県柔道整復師会（以下、当会）の情報交換会が平成二十三年度以来、一年ぶりに開催されました。

【出席者】

○健康保険組合連合会宮城連合会
（九組合十六名）

東北電力、七十七銀行、ユアテック

ク、東北しんきん、東北薬業、宮城県自動車販売、仙台銀行、仙台卸商、民間放送の九組合十四名、健保連宮城事務局二名

○（公社）宮城県柔道整復師会

（会長、両副会長、理事六名）

情報交換会冒頭において、当会松元副会長より宮城県柔道整復療養費審査委員副委員長の立場から「柔道整復療養費の取り扱いについて」と題して、宮城県内の審査状況や療養費の改定に伴う審査重点項目、宮城県の見解についての説明を行いました。また申請書や施術録の記載や算定方法について講演を行い、健保連宮城側に理解を深めてもらいました。

会議では、健保連宮城からの質問・要望事項として「療養費支給申請書について」、「患者への対応について」、「健康保険の使用について」など三項目五質問の提起があり、各々の質問・要望事項に対して回答し、医療保険における責務について、会

員へ徹底していく旨を伝えました。

続いて当会から柔道整復師の施術の療養費適正化取り組みについての一環である「被保険者等に対する照会への留意事項や照会書面について」、「交通事故、第三者等の行為による傷病届けについて」の質問・確認を行い、健保連宮城から回答を受けました。

さらに当会の活動や療養費取扱いに関する会員への研修活動や指導内容を伝え、療養費の適正化に向けた取り組みについて、相互の理解と協力を確認しました。

四、損害保険料率算出機構情報交換会 報告

平成二十五年九月十日（火）、損害保険料率算出機構と公益社団法人宮城県柔道整復師会（以下、当会）との情報交換会を開催しました。

損害保険料率算出機構からは、仙台自賠責損害調査事務所所長をはじめ、自賠責損害調査センター北日本

本部医療調査課から専門担当者四名を含む五名と、当会からは会長、両副会長、保険部長、リスクアセスメントアドバイザーの五名での会議となりました。

内容は、自賠責の取扱い全般について、医科との治療部位相違について、アンケート調査による案件、柔道整復師の請求について協議しました。相互の制度理解を含め、有意義な会議となりました。

文責 保険部長 若井 晃

第37回厚生労働大臣旗争奪 日整全国柔道大会予選会

第34回東北ブロック会柔道大会

日本柔道整復師会東北ブロック会

第21回東北少年柔道大会

第3回日整全国少年柔道形競技会 東北ブロック会予選会

第2回東北ブロック会少年柔道形競技会

平成25年7月20日(土) 大崎市古川総合体育館

結果報告

平成二十五年七月二十日、大崎市古川総合体育館において第三十四回東北ブロック会柔道大会・第二十一回東北少年柔道大会・第二回東北ブロック会少年柔道形競技会が盛大に開催されました。

第三十七回厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会予選会／第三十四回東北ブロック会柔道大会には、東北ブロック会各県から総勢十九名の選手が出場。当会からは、木村清徳監督率いる四名、五十歳代で渡部康光会員、四十歳代で飯野勝幸会員、三十歳代で渡邊利康会員、佐藤昭彦会員が出場し、熱戦が繰り広げられました。

結果は、渡部康光会員、飯野勝幸会員、佐藤昭彦会員が優勝、十月十四日に講道館で開催される日整全国柔道大会への出場が決定しました。さらに、宮城県チームは総合優勝を獲得しました。

第二十一回東北少年柔道大会には、十六チーム八十名の少年少女が集結。宮城県から石巻みなと柔道会、木村

柔道館、大崎柔道クラブ、志栄會凌門塾、白石三省塾柔道スポーツ少年団、気仙沼柔道スポーツ少年団の六チームが出場しました。

また、第三回日整全国少年柔道形競技会予選会／第二回東北ブロック会少年柔道形競技会には、蜂谷雄太・阿部隼祐組、丹野桃世・三浦凜太郎組が宮城県代表として出場しました。

少年の部においては、選手一丸となり善戦し、また素晴らしい投げの形（手技・腰技・足技）を演技しましたが、惜しくも入賞を逃しました。

今回の大会は、三大会同時に行われましたが、開催地である大崎市の大崎市柔道協会、大崎柔道クラブをはじめ、多くの方々のご協力をいただき、盛況裡に終了しました。誠にありがとうございました。

大会結果は次の通りとなります。

〔第三十四回東北ブロック会柔道
大会結果〕

- 五十歳代
優 勝…渡部 康光 (宮城県)
準優勝…太田 邦雄 (岩手県)
第三位…深谷 純 (福島県)
遠藤 重男 (山形県)
- 四十歳代
優 勝…飯野 勝幸 (宮城県)
準優勝…亀田 泰文 (青森県)
第三位…有馬 昇 (秋田県)
柴田 昌一 (山形県)
- 三十歳代
優 勝…佐藤 昭彦 (宮城県)
準優勝…佐藤 太 (秋田県)
第三位…工藤 涉 (青森県)
富田 剛史 (山形県)
- 二十歳代
優 勝…松田 幸泰 (秋田県)
準優勝…及川 和彦 (岩手県)
第三位…加藤 孝瑛 (山形県)
松浦 毅弘 (福島県)

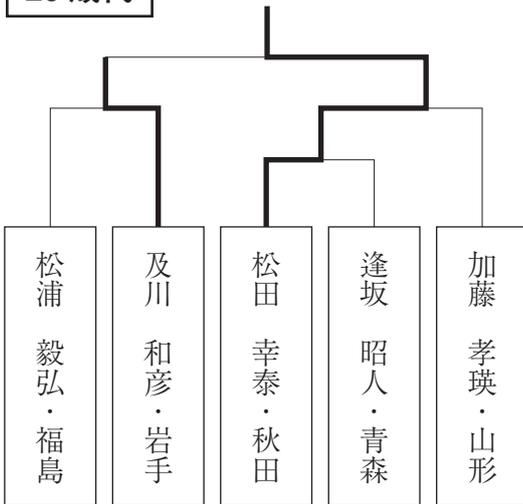
第三十七回厚生労働大臣旗争奪日整
全国柔道大会出場者

- 五十歳代…渡部 康光 (宮城県)
四十歳代…飯野 勝幸 (宮城県)
三十歳代…佐藤 昭彦 (宮城県)
三十歳代…工藤 涉 (青森県)
二十歳代…松田 幸泰 (秋田県)

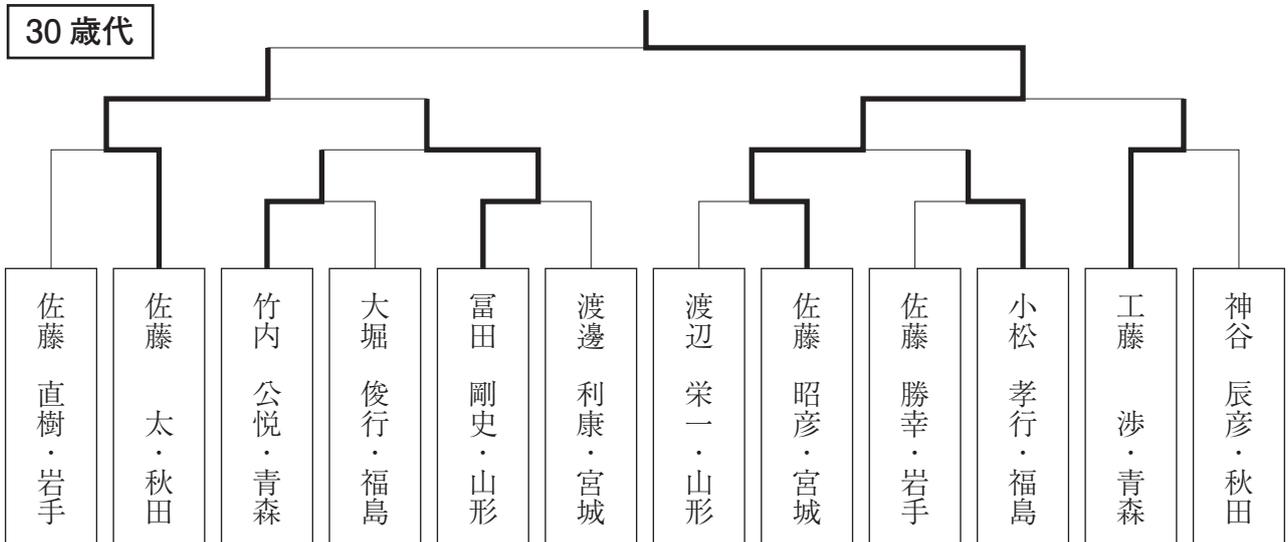
東北ブロック会団体総合順位

- 一位…宮城県 三十四点
二位…秋田県 二十三点
三位…山形県 十七点

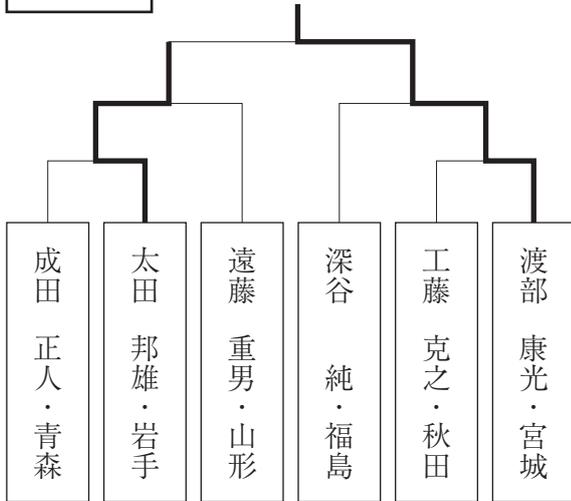
20歳代



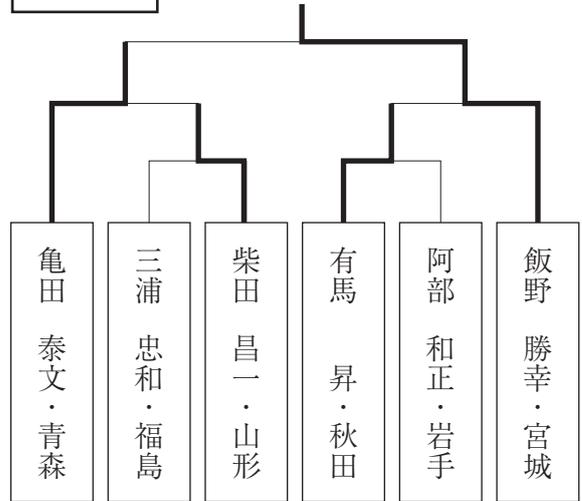
30歳代



50 歳代



40 歳代



総合優勝 宮城県チーム

〔第二十二回〕

東北少年柔道大会結果

優勝…五所川原柔道少年団

(青森県)

準優勝…剛柔館藤田道場

(青森県)

第三位…高橋道場

(山形県)

小友唯心塾

(秋田県)





〈第二回東北ブロック会

少年柔道形競技会結果〉

優勝…佐藤 風翔・工藤 洸優

(青森県)

準優勝…齋藤 竣・望月誠志朗

(福島県)

第三位…大船 瑞季・佐々木そら

(青森県)

文責 広報部

厚生労働大臣旗争奪
第37回 日整全国柔道大会
結果報告

平成25年10月14日(月) 講道館大道場

平成二十五年十月十四日(月) 体育の日に講道館において、厚生労働大臣旗争奪第三十七回日整全国柔道大会が行われました。

東北ブロック代表チームは、初戦は四国と対戦しました。

先鋒・松田選手(秋田)が反則勝ち、次鋒・佐藤(宮城)が一本負け、中堅・工藤選手(青森)、副将・飯野選手(宮城)、大将・渡部選手(宮城)がいずれも引き分けとなり勝数が同じため、代表戦にもつれ込む展開となりました。代表戦では、先鋒の松田選手が出て優勢勝ちをおさめ、東北ブロック代表チームは二回戦へ進出しました。

二回戦では北信越西部Bとの対戦となりました。

先鋒・松田選手が一本負け、次鋒・佐藤、中堅・工藤選手がともに引き分け、副将・飯野選手が一本負け、大将・渡部選手が優勢勝ちとなり惜しくも二対一で東北ブロック代表チームは二回戦敗退となりました。

東北ブロックの各県代表選手はそれぞれに「やっぱり負けると、もの凄く悔しい」「来年こそは最低でも

入賞しよう」「来年はもっと覇気をだすよ」「……。」と口にし、また一年間、忙しい業務の合間や終了後、休日に稽古を行う日々へと笑顔で帰って行きました。

決勝進出をも狙えるチーム、組合せだっただけに悔しい結果でしたが、それよりも東北ブロック代表の選手に大きな怪我などが無かったことが一番の喜びだったと思います。

第三十七回厚生労働大臣旗争奪

日整全国柔道大会 結果

優勝 近畿

準優勝 東京

第三位 北信越西部B

北信越西部A

最後に、各県の会長をはじめ応援していただいた先生方、東北ブロック大会で携わっていただいた先生方に感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

文責 柔道大会推進委員会

委員長 佐藤 昭彦



東北ブロック代表チーム



文部科学大臣杯争奪
第22回 日整全国少年柔道大会
結果報告

平成25年10月14日(月) 講道館大道場



平成二十五年十月十四日体育の日に、第二十二回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会へ参加するため、当会より木村清徳相談役が監督として、小学校四年生から六年生で編成された宮城選抜チームを引き連れて、講道館の大道場に臨みました。十三日に東京入りした宮城選抜チームは意気も高く、父兄の協力を得て、夕方から講道館におもむいて軽い練習で汗を流すことができました。



した。チーム内の雰囲気も良い状態で翌日の試合に臨むことができました。しかし、結果は一回戦で広島県代表に善戦するも3-0で惜敗となりました。

今年の収穫として、前日に講道館で練習できることがわかり、来年からは練習の時間を作るようにして、良い成績を残せるようにしていきたいと考えています。選手たちにとっては、講道館で試合をしたことが自



信につながり、大きな財産になった
 と思います。この経験を糧にし、更
 に活躍してくれることを心から祈念
 します。

文責 事業部長 佐々木 俊夫



宮城選抜チーム

日本柔道整復師会東北ブロック会 会長会および四部会 出席報告

平成二十五年九月七日(土) 江陽グランドホテル

〈会長会〉

会場：江陽グランドホテル

十三階 白蘭の間

出席者：佐藤 金一（青森）

及川 磨（岩手）

佐藤 環（秋田）

鎌田会長代理

齊藤 勝典（山形）

遠藤 寿之（福島）

松元 浩二（宮城）

櫻田会長代理

平成二十五年九月七日（土）江陽グランドホテルにおいて、平成二十五年年度日本柔道整復師会東北ブロック会 会長会および四部会（学術・保険・広報・柔道）会議が開催されました。

それぞれの部会で、各県からの様々な提案や要望が出され、意見交換が行われました。東北ブロック会各県の更なる連携、団結を深める大変有意義な会議となりました。

会議の要旨は次の通りです。

議題

1. 日本柔道整復師会東北ブロック会に対して（意見、要望等）
2. 日整に対して（質問、意見、要望等）



3. 日整の報告事項等について
4. その他

「日整全国柔道大会」への東北ブロック会選出の審判について

〈学術部会〉

会場：江陽グランドホテル

四階 千歳の間

出席者：部長

櫻田 裕（宮城）
鶴田 直司（青森）
笹山 明（岩手）
赤川 和浩（秋田）
奥山 治朗（山形）



内藤 良博（福島）
千葉 昌彦（宮城）

議題

1. 平成二十五年度東北学術大会宮城大会 報告
2. 平成二十六年東北学術大会岩手大会（要項等）
3. ①日本柔道整復師会東北ブロック会への質問、提案、要望事項

- ②各県への質問、要望事項
- ③日整に対しての質問、要望

〈保険部会〉

会場：江陽グランドホテル

四階 琥珀の間

出席者：部長

関 裕二郎（青森）
三潟 謙（青森）
菊地 信（岩手）
佐藤 幸（秋田）
佐藤 公司（山形）
村上 英一（福島）
若井 晃（宮城）

議題

1. 各県保険部が抱えている問題事例について（他県への質問、資料提出の要請等）
2. 日本柔道整復師会東北ブロック会保険部に対して（意見、要望等）
3. 日整保険部に対して（質問、意見、要望等）
4. その他



〈広報部会〉

会場：江陽グランドホテル

四階 芙蓉の間

出席者：部長 大河内誠二（福島）

佐々木良太（青森）

間橋 淑宏（岩手）

関口 徳彦（秋田）

相澤 久敏（山形）



菅野 幹夫（福島）
尾形 謙（宮城）

議題

1. 日整広報の原稿締め切り、発行について

2. 日整広報への要望

3. 東北ブロック会広報の将来

4. 各県の広報活動について

〈柔道部会〉

会場：江陽グランドホテル

十三階 紅蘭の間

出席者：及川 磨（岩手）

大河原部長代理

成田 正人（青森）

藤岡 秀明（岩手）

工藤 克之（秋田）

武田 吉和（山形）

緑川 聰（福島）

佐藤 昭彦（宮城）

議題

1. 第三十五回東北ブロック会柔道大会について

2. 第二十二回東北少年柔道大会について



3. 第三回東北ブロック会少年柔道形競技会について

4. その他

なお、審議内容については、本会ホームページの会員専用ページに掲載しております。

文責 広報部

平成25年度 SVM 地域代表者会議

平成二十五年十月二十日（日）、
保険全体研修会終了後、フォレスト
仙台第五会議室において平成二十五
年度SVM地域代表者会議が開催さ
れました。

SVM（接骨院ボランティア宮城）
立ち上げ当初から考えると、地域代
表も大幅に入れ替えがありました。が、
何も引き継ぎが無く運営されている
ことが大きな問題点でもありました。
沢山の意見、質問が地域代表からあ
げられました。これらをより良いS
VM活動にしていくために、反映さ
せていき、私自身もSVMを立ち上

げた経緯をもう一度紐解き、来年か
らは、当会が活動をする上で、地域
に密着して活動されている地域代表
と連携、協力し、公益で、且つ会員
の皆様にも有益な活動ができるS
VMを目指して行きたいと考えており
ます。

文責 事業部長 佐々木 俊夫



募 集

—— 意見・提言・趣味 ——

— 考え、思いつき、感想、提案、会員生の声 —

あなたのご意見をお聞かせください。

- 意見を出さず、体制に追随してはいませんか。
- 意見を言わず、諦めてはいませんか。宮城県柔道整復師会は、あなたの社団です。
- 誰かがやるだろう、誰かが切り開いてくれると思っていないませんか。
- 一人の意見が、大きな舵取りになることもあります。
あなたは、(公社)宮城県柔道整復師会の会員です。
- どんなことでも結構です、あなたの意見、希望、疑問、情報、なんでもお知らせください。

○投稿 ○電話 ○FAX ○インタビューにうかがいます。

どんな方法でも結構です、一步前へ！

第22回 日本柔道整復接骨医学会 学術大会 参加報告

平成25年11月23日(土)・24日(日)



第二十二回日本柔道整復接骨医学会学術大会が、平成二十五年十一月二十三日(土)・二十四日(日)に東京有明医療大学を会場に開催されました。今回の学会は、「教養」「研究」「臨床」―深化と調和―をテーマとして、一日目は約一五〇〇名、二日目は約一六〇〇名、二日間で約三二〇〇名の会員が全国各地から集う大会となり、盛況に催されました。学会は開会式、閉会式が無く、八会場で同時進行のため、会員からは

できるだけ多くの発表を聞きたいとの意見も聞かれ、今後の課題であると感じました。

当会からは、四名の会員が発表いたしました。

発表順にご紹介いたします。

1. 柔道整復師と介護予防について
―身体機能の質の向上と認知症予防に与える影響と効果の検証―
中川接骨院 中川 裕章 会員
2. 「いわゆる柔整捻挫・挫傷」に関するアンケート結果についての考察
タムラ接骨院 田村 博 会員
3. 足踵組織 (heel pad) の退縮と委縮による踵骨痛 (painful heel) に対するテーピング法の工夫・第二報
仙台接骨医療専門学校・岩佐接骨院 岩佐 和之 会員
4. 足趾しびれの、神経絞扼・圧迫
説以外の可能性について
住吉台一三三接骨院

吉本 豊 会員

いずれの発表も好評で、宮城県の代表として十分に役割を果たしていただきました。

また、今回の学会の中で興味深い内容であった発表を二つご紹介いたします。

「医接連携の方法〜地域医療連携室を介した専門医への紹介〜」

やひこ接骨院 和田 浩一 先生

各病院の地域医療連携室を通しての紹介を積極的に行うことにより、医師との信頼関係が深まり、のちに全科の専門医への診療予約の許可をいただくことができたそうです。

このように医接連携が創られ、「痛めたらまず接骨院に受診し状況に応じて適切な医療機関を紹介してもらえらる」基盤ができたとの内容でした。当会でも、地域密着はもとより他業種との連携を模索している中、このような活動は大変参考になると考えます。

「柔道整復師の専門性獲得過程における「場」の重要性」

セルテック新潟柔道整復師養成学院

稲川 郁子 先生

柔道整復師の専門性獲得についての発表で、言語化が難しい知識と身体化された技術「暗黙知」(コツ、カン、さじ加減)を継承するために、必要な「場」の概念を説明しています。

「人が何かに上達するまでの学習過程の特徴」として、強い内発的な動機づけ、熟達までの膨大な時間、積極的な関連情報の収集・構造化の生起、教え合ったり議論したりする仲間の存在、異なった達成レベルのメンバーが混在するコミュニティの存在、コミュニティ内での自我の確立と学習成果の直結等をあげています。

「暗黙知」を継承するために、実際の臨床の「場」に参加し「場数を踏む」ことが決定的な前提になるとして結んでいます。

ここ最近の接骨院では、外傷自体が少なくなってきたことを考えると、骨折脱臼に対する「暗黙知」は継承されにくい現状にあることに、柔道整復師としての危機感を感じました。

今回、学術大会に参加する機会を与えていただき、ありがとうございました。

他の会員の考えや活動がリアルに感じられ、自分の中でも多々啓発される部分があり、当会にフィードバックしたいと感じました。

最後に、再来年は、仙台での開催が予定されています。宮城の会員にとっては、日本柔道整復接骨医学会の認定柔道整復師の要件を満たすチャンスとなりますので、奮って参加されますよう期待いたします。

以上、学術大会参加報告とさせていただきます。

文責 学術部長 千葉 昌彦

〈会員投稿〉

「みやぎの・まつり」を 振り返って

SVM宮城野区 接骨院いなば

准会員 酒井 孝文

今回で第二十五回の節目となる「みやぎの・まつり」

今年是全国的に記録に残る大型台風の影響により、各地で洪水や土砂崩れ等の被害が相次ぎました。毎年天候に恵まれていましたが、当日は仙台でも低温・大雨に見舞われてしまいました。例年はおよそ十万人もの方々が来場される区民祭りですが、悪天候の中でも約四分の一の二万五千人の方が来場しました。

参加者の中には、中学生の出店や沿岸部被災市町村の方々による復興市、県内外からも多数の出店があり今も尚、宮城に必要であろう「活気」が溢れていました。

途中、滝のような雨が降り、メインステージで滑り転びそうになりな



がらも踊り終えた小学生のダンスチームの姿は、救護班として大きな怪我に繋がらずホッとしました。また、雨の中最後まで諦めずにステージを終えた彼女たちの達成感溢れる笑顔は素晴らしいものでした。

最後のプログラム参加者の方が、練習中に母指を痛めていましたが、スピーディに応急処置をし「ありがとう」と感謝のお言葉をいただきました。無事ステージに立つことができ



きたのは、救護班のチームワークの賜物だと思えます。

最後に、悪天候にも関わらずお集まりいただきました先生方、医療機器メーカーの皆様へ感謝を申し上げますと共に、底力を見せた東北楽天イーグルスのように魂を込めて、今後も地域に根差した治療を目指していきたいです。

● “地方社団トップ最前線”と題して、南から地方社団の歴史・特色・取組み・会長の横顔等をご紹介させていただいておりましたが、2011年3月11日に起きた東日本大震災以降休載していました。お約束通りあれから2年が過ぎましたので、再び今月号の第111号よりスタートすることになりました。今回は公益社団法人宮城県柔道整復師会会長・櫻田裕氏にインタビューさせて頂きました。

トピックス



“トップ最前線”

(公社)宮城県柔道整復師会
会長 櫻田 裕 氏



宮城県の人口は、231万人、高齢者人口は約54万人(平成25年3月31日現在)。

2011年3月11日に起こった東日本大震災で9510人が亡くなられ、1694人が行方不明になるという大変しい被害に遭われた。少しずつ復興は進んでいるが、まだまだ震災の爪痕は色濃く残されている。

SVM「県境なきボランティア活動」に代表されるように、宮城県は歴史と伝統を守りつつ新しい時代を切り拓いていく力強さと誇り高い県民性を持っている。今期、公益社団宮城県柔道整復師会新会長に就任された櫻田会長に柔道整復師の本来あるべき姿と社会貢献について真摯に話していただいた。

■公益社団宮城県柔道整復師会の経緯について

私達の会は昭和14年、宮城県柔道整復師会として発足し、昭和52年に社団法人宮城県柔道整復師会を設立。平成24年11月28日からは公益社団法人として認定され、平成25年4月1日、公益社団法人宮城県柔道整復師会として移行登記をしました。この度、私が会長に就任いたしました。宮城県は私の前の豊嶋会長(現在名誉会長)、上泉昌隆会長、柴田仁市郎会長、洞口直会長の頃からずっと宮城県独自の体制、組織機構で事業運営しております。私自身も歴代の会長から大いに薫陶を受け、それらを拠として職責をしっかりと全うするよう努力したいと思っております。歴代会長の業績を尊重して、それを発展させるような流れで今宮城県は進んでおります。

今期は、重点的に次世代の人材育成を考えており、今回理事に若い先生を4名起用し、人材育成に傾注しています。また、社団の執行部に対するモニター制度を考えており、モニター会員に提出して頂いたレポートを

読ませて頂き、将来の役員候補者の発掘をしたいと考えています。いつも決まった人たちだけスキルがどんどん上がっていつ、そこから外れた人たちは能力があるにもかかわらず、埋もれているのはもったいない、人材は財産です。そういう意味での流れとしてコンセンサスが出来ているのが宮城県なんです。それもこれも結局は洞口・柴田・上泉・豊嶋という流れの中で一貫して人材育成が出来ているからです。

■「宮城県柔道整復学構築学会」について

私は20数年間、学生に柔道整復理論を教えています。実は『柔整理論』といいながら自身の持論の感が否めません。教科書はありますけれども、結局整形外科の理論を借りて、これまでの歴史の中での実際の医療行為を体系化しただけで、やはり柔整理論というのは未だ出来ていないと考えております。それで宮城県は学の構築ということで、医事評論家の水野肇先生に特別顧問をしていただいて、「宮城県柔道整復学構築学

からだサイエンス柔整Version 第一一〇号(平成二十五年八月十五日発行)に当会の櫻田裕会長のインタビュー「トップ最前線」と公益社団法人日本柔道整復師会第三十四回東北学術大会宮城大会の記事が掲載されました。掲載記事をご紹介します。

会」を毎年開催しており、今年
は第5回学会を5月26日に開
きました。

私は東北ブロックの学術部長
もやらせていただいております
が、柔整で弱いと思うのは論
文がうまく書けないということ
です。自分のしっかりした考えや
治療実績をキチッと外部に発信
するためにも論文の書き方につ
いて、統計処理の手法等も
含めて外部の専門家に指導を
仰ぎ、若い先生方に学んでい
ただきたいと思っています。

■柔整スクール・生涯学習

当会のスクールは、公益社団
体法人宮城県柔道整復師会が会
員へ向けて平成16年2月より、
生涯学習の一環として開校した
ものです。その背景には、現代
の爆発的な過当競争の中で社
会的ニーズに応えうる真の柔道
整復師養成が急務であるとして
スタートしました。私達柔道整復
師の名称には、技術は言うまで
もなく、当然のこととして人間形
成された魅力も期待されていま
す。そういった国民の期待に十
分に応えうる人材育成の一環と
して、この柔整スクールがあり
ます。“生涯学習の実践を目的に、
社会的ニーズにフレキシブルに
対応し、力のある元気な柔道整
復師を目指すと共に会員の意
識を喚起し、スクールにおいて
「学術」・「教養」・「経営」の3本
柱を実務セミナーに据え、実務
的能力の修得を目指しています。
開校状況については、これまで
に第1期～第8期までのスクー
ルが開校され、新入会員のオリ

エンターションを兼ねた「必修
講座」と従来の「一般講座」との
2本柱で展開していましたが、
震災以降お休みしていました。
現在、会館を新築中で、年内に
完成する予定です。完成したら
いよいよ柔整スクールも再開し
ます。

■接骨院ボランティア宮城SVM

従来型の個々で行うボランティ
ア活動とは別に、正会員、準会
員全員参加による“本業ボラン
ティア”型の、「接骨院ボランティ
ア宮城」通称SVMを結成して
おります。治療室単位のフィー
ルドから、社会的ニーズに呼応
するフィールドの規模へと積極
的に国民の安全と安心に貢献
しています。

さらに、他のボランティア団体
との連携や協力によって新たな
ネットワークを形成、地域文化
の育成発展に寄与しています。
その他、全会員治療室窓口に、
「SVM福祉募金」箱を設置い
たしまして、福祉募金活動をお
こなっています。毎年、当会新
年会開催に先立ち、患者様か
らお預かりしました福祉募金を
福祉施設に贈呈しています。

■介護関連事業について

当会では介護企画推進室を
組織しています。平成24年度
から仙台市の地域支援事業を
受託、今年度も受託しました。
希望者を募って介護関連の研
修会を企画し、会員のスキルア
ップをはかり、以下の介護事業関
連の活動を続けています。

○訪問機能訓練サービス

膝痛・腰痛並びに震災後生活
環境が変化し生活不活発病に
該当される方、若しくは2次予防
対象者、1次予防対象者の方に
対応します。生活の広がりとし
て、主体的健康感の向上並びに運動
機能向上を目的として、柔道整
復師が訪問機能訓練サービス
を行います。東日本大震災によ
り、生活環境の変化で生活不
活発病に該当される方々に対
して、地域の相談窓口である地
域包括新センターとの連携のも
と、対象者に対して生活再建支
援をするための事業です。対
象地域は仙台市、気仙沼市、
石巻市、東松島市、塩釜市と複
数の自治体にわたり、主体的
健康感の向上、運動機能の向
上、閉じこもり、うつ予防啓発の
ために対象者の自宅に訪問し、
生活に密着した形で適切な機
能訓練を指導、実践しています。
生活不活発病の要因には、膝
痛・腰痛があり活動が困難な方
のみではなく、生活環境におけ
る問題や心理的要因、精神的
要因など、多くの問題が起因し
ています。われわれ柔道整復
師が持つ保存的療法を活用し、
多職種の方々と連携を図りなが
ら、より生活復興に向けた生活
再建支援体制をこの事業で実
現させていく事を目的としていま
す。その他、地域支援事業とし
て、仙台市「元気応援教室」等
を開催したり、介護予防教室も
開催しています。

○被災者支援事業(地域資源と

しての介護予防啓発事業)

3・11の震災復興にあたり、震災後生活環境が変化する事で生活不活発病に該当される方、2次予防対象者並びに1次予防対象者の方々、そしてそのご家族の方に対して「介護予防の必要性」を知る為の事業として平成24年度より開催しています。介護予防の目的には、閉じこもり、うつ予防、認知症予防、社会参加、口腔衛生、栄養改善、運動機能向上などがあり、要介護にならずに住み慣れた地域で安心安全のもとに、自立して生活ができるための課題が掲げられています。この事業では多くの職能団体(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、栄養士、柔道整復師)が連携して地域住民のために協働し、全ての介護予防項目について、参加される方々に「学べる、聞ける、体験できる」場を提供すると共に、実践することに意義があります。このような連携プロジェクトはあまり前例がなく、介護予防に対する意識啓発並びに実践できる公益事業として継続推進する予定であり、平成25年度は、被災地である気仙沼、石巻での開催を企画しています。

■医接連携について

宮城県内の脊椎・肩・股・膝・手指等を専門とする医師の方々と社団との間で提携できておりますので、会員からそのような患者さんを紹介したいというオファーがあれば、会を通じてご紹介するかたち、若しくは会員から直接その専門のドクターの

方々に患者様をご紹介できる体制が構築出来ております。また、そうしたドクターの方々とは社団のほうで信頼関係を確立しております。

■今後の方向性について

現在、柔道整復師がこれだけ多数の人数がいて、国民の支持があるということは必要とされているからであると思います。ですから柔道整復師の業務の正当性をしっかりと理論づけて説明していくことが重要だと思えます。基本的には、外傷、ケガに対する施術と、疼痛による運動器の機能制限若しくは障害に対して施術を行うという2つの観点で会員に対して情報提供をして参ります。今の日本の外傷発生の構造は、一回の外力で負傷をするようなケースは激減しており、その反面、亜急性と呼ばれる蓄積や反復による組織損傷、疼痛による運動器の機能障害や制限を訴えるケースが多くを占めています。そのような患者様に対して、しっかり治療に導けるよう、技術のたゆまなき研鑽と学問的な追及をしていく考えです。まずは宮城県柔整スクールでやらせていただいて、これらの成果は宮城県だけではなく、外部に発信していきたいと思えます。我々柔道整復師は日本の伝統医療を継承するものとして国民の健康保険に貢献していくために日々研鑽を積み、新たな行動を起こして柔道整復師の歴史を紡いでいかなければならないと考えております。



●櫻田裕会長プロフィール

1957年(昭和32年)2月17日、宮城県生まれ。

学歴: 明治大学政治経済学部、赤門鍼灸柔整専門学校を卒業

職歴: 1985年、宮城県大崎市にて開業。1985年より赤門鍼灸柔整専門学校、北東北東洋医療専門学校講師を経て現在、慈慶文化学園 仙台医健専門学校・副校長

役員歴: 2003年より社団法人 宮城県柔道整復師会理事、統括筆頭理事、副会長を経て、2013年5月公益社団法人 宮城県柔道整復師会会長

柔道五段。

趣味・スポーツ: 音楽鑑賞・ゴルフ

家族構成: 母親、妻、子供3人

座右の銘: 「人品骨柄卑しからず」

☆公益社団法人日本柔道整復師会

第34回東北学術大会宮城大会が開催！



(公社)宮城県柔道整復師会
会長 櫻田 裕 氏

公益社団法人日本柔道整復師会第34回東北学術大会宮城大会が2013年7月21日(日)、仙台国際センターで華々しく開催された。

9時から始まった開会式では(公社)宮城県柔道整復師会櫻田裕会長より「あの忌まわしい東日本大震災から2年が経過いたしました。その間私ども柔道整復師は被災地で懸命に復興支援と救護にあたって参りました。現在復興の最中ですが、一生懸命業務に尽くし地域の健康保険・復興に寄与しております。広く公共の利益に資する目的で多数の講演と研究発表がありますが全て社会に対応した形式をとっています。」等、開会の挨拶を行った。

(公社)日本柔道整復師会会長・学会会長の工藤鉄男氏から「2年間の復興に対して努力され、今大会を準備・開催されたことに対し宮城県の櫻田会長以下会員の方、また前会長の豊嶋会長に心から感謝と敬意を申し上げたい。」と冒頭で話され



(公社)日本柔道整復師会会長
東北学術大会会長 工藤 鉄男 氏

「私はこの6月23日の総会・代議委員会において会長を拝受することになり、新しい19名の理事と一緒に公益社団法人日本柔道整復師会を預かって参ります。今、社会においては我が業界に対して厳しい目が注がれていることは事実で、全柔道整復師の代表としてやらなければならない我々の使命は今まで以上に重大さを増しています。ご承知の通り、人口減少問題、少子高齢化、経済的要因等により社会保障の枠組みが変わってきています。かつては我々の療養費は社会保障の中の医療費においてどうすればいいかを考えれば良かったが、介護保険という新しい保険の仕組が出来て如何にして柔道整復術を国民のために寄与する治療技術として提供できるか、こういうことを考えていかなければいけない時代に入ってきています。11ブロックで行われている学術大会で発表されたものを研鑽し、提供することで国民の大きな信頼と要望を得る

ことが出来る訳です。多くの社会保障の新しい仕組みの中に我々が入っていけるかどうか、これが我が日本柔道整復師会に課せられた責務です。」等、日本柔道整復師会の公益社団法人としての使命と責務を述べ、更に「多くの全国各県の会員と一緒にこの危機感を共有しながら如何にして打破していくか。我々執行部は将来ここに居る若い先生たちを責任もって皆さんの技術の向上をさせるよう新しいアイデアをもって皆さんと共に歩いて参りたい。これからも日本柔道整復師会、業界の発展に皆さんの温かいご支援ご協力を切にお願いしたい。」と、日本柔道整復師会の新執行部の考えを示した。

続いて来賓の紹介が行われ、医事評論家で宮城県柔道整復学構築学会特別顧問である水野肇先生から激励のビデオレターが公開された。

櫻田会長より講師のご紹介があり、特別講演に入った。

◇伊達家三十四世・仙台伊達家十八代当主・伊達泰宗氏による特別講演「歴史から学ぶ」が一般公開の形で行われた。

伊達泰宗氏は講演で、「東日本大震災の時、津波が多くのものを奪い去っていった。震災から2年4か月を経て復興の思いを全国に発信したい。今日この講演を聴いていただいて共



伊達家三十四世・仙台伊達家十八代当主・伊達 泰宗氏の特別講演

有していただけたらと思います。慶応4年に戊辰戦争があり、伊達62万石は28万石になり、領地を失った家臣たちは北海道の開拓団として海を渡っていきました。以来伊達家の当主は東京住まい。昭和49年10月に政宗公墓所の発掘調査が行われた。戦災で焼けた瑞宝殿の跡は床石と礎石、玉石と粘土の層。1つずつ掘っていくと墓石の蓋石に到達。338年前に封じ込められた空気と現在の空気が混じり合う瞬間、実在の人として目の前に現れた瞬間、政宗公のご遺骨が現われた感動は生涯忘れない。成人したら戻って守らせて頂きますと誓って、この願いが叶って現在仙台で伊達家の仕事に携わることが出来たのは何よりの慶びで感謝する日々を過ごしている。藩主政宗公の直系子孫であることを忘れてはならないと幼少のころから言われて日々伊達家の歴史の中で生かされていることを感じている。昭和62年に制作されたNHKの大河ドラマ独眼竜政宗は47.9%の視聴率でいまだに記録は破られていない。敵味方限りなく尊い犠牲があることを心に留めながら監修にあたった。因縁の浅野長政氏ご子孫との対面。かつて先祖が命をかけて戦っ

たその日の出来事。絶交の歴史をここで終りにしませんかと申し出、398年ぶりに両家和解の茶会を開いた。歴史というものは過去を検証することも学問であるが、今ここに新しい歴史が生まれることを実感した。今から402年前、慶長三陸の大津波、東日本大震災は丁度その400年後に発生し、規模範囲がほぼ同じだったことが判明した。政宗公はキリシタンを擁護していた。スペインとの交易、仙台藩自らの手で船500トンを建造。世界で初めて環太平洋の周航を目的として、当初計画は徳川幕府の承認を得てのことであったが、家康は禁教令を發布、計画は失敗に終わった。唯一日本から世界を目指すという逆転の発想。政宗公は、このことをやりたかったと私は感じている。天下取りには20年遅く生れてしまった。伊達の黒船は世界を舞台にして、伊達の歴史を後世に残していく。私の心には政宗公のそういう思いが伝わってくる。派遣から400年、派遣の3年前に三陸大津波があった大変な時期であったが大変な事業を行われた。その勝敗の行方は未来の人に託そうではないか。真剣に生きた思いを託そう。未来の人へ伝えようではないか。この度の吉報は、復興を目指す吉報となった。皆さん方は困難を乗り越え、私達はその力を支えにして次の時代に紡いで、未来の人達にしっかりと残していかなければならない。祖先を崇拝するものは自己を尊敬する人である。我々が今日この地にあるということは、これ偏へに祖先の努力の賜物である。歴史を没

却して現在あるとは考えられない。過去において祖先は我々の現在を思い、血と肉とことごとく伝え奮闘したのである。その子孫である我々はその努力を思わねばならぬのではないか。過去の歴史に発奮する者は必ず勝利者である。あらためて現在に生きる、未来を紡ぐ私達は過去における歴史の偉大さを思う。現代人を生んだ祖先の努力を決して忘れてはならない。この言葉を残して私の役目を終わらせていただきます。と結ばれた。淡淡と語られる姿は神々しく魂が浄化されるような講演であった。

その後、研究発表「陳急性足関節内反捻挫を有する患者における身体各部の主訴(疼痛)について」谷川弘氏(青森県)、「シンスプリントに対するDSISテーピングの応用」森元利和氏(秋田県)、「特徴的な姿勢をとる一側肩筋部痛四症例からの一考察」田頭一志氏(岩手県)、「TTPP規制緩和と医療の行方」原田洋典氏(山形県)、「構造的アンバランスが障害発生メカニズムに及ぼす力学的影響」嶋原一信氏(福島県)が行われ、特筆すべきは宮城県「柔道整復学」構築研究委員会委員・田村博氏、委員長・岩佐和之氏、前副委員長・新井田一吏氏らによる『いわゆる「柔整捻挫・挫傷」に関するアンケート結果についての考察—上肢について—』で、捻挫・挫傷の概念・定義の共通解釈に一石を投じる内容であった。

実技発表は、「肩周辺の過剰緊張(肩こりを含む)への臨床実技」千葉歩氏(青森県)、「足アー

レセプト業務効率化の検討について

いつも本会事務業務にご理解、ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、県内分の毎月のレセプトにつきましましては、現在、療養費審査委員会が開催されます月の中旬頃までに提出しておりますが、これからは、毎月十日（全国統一）を期限に提出してほしい旨、通知を受けております。レセプト業務をその日程に間に合わせることを考えますと、人的増員を始め、残業時間の増大など、大幅なコストロスが見込まれます。そのようなことから、効率良く業務を遂行するための対応策として、現在、レセプト読み取り機の導入を前向きに検討し、準備を進めさせていただいておりますことをまずはご報告申し上げます。本システムは、既に公益社団法人東京都柔道接骨師会にお

いて導入され、業務実績を上げられておりますが、ご厚意により、十一月二十七日に当会担当者が伺い、職員の方々からご説明をいただいております。

本システム導入により会員の皆様には、帳票添付やFD・USB等のデータが一切不要になる等のメリットが見込まれますが、本会事務業務効率化等の効果につきましては、さらに検討を重ねました後に、改めて詳細にご報告させていただきます。今後とも、より効率化された、会員の皆様に利便さを実感していただけるような事務局体制作りを努めてまいりますので、どうぞご指導、ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

文責 事務長 舟山 清美

募 集

—— 意見・提言・趣味 ——

— 考え、思いつき、感想、提案、会員生の声 —

あなたのご意見をお聞かせください。

- 意見を出さず、体制に追随してはいませんか。
- 意見を言わず、諦めてはいませんか。宮城県柔道整復師会は、あなたの社団です。
- 誰かがやるだろう、誰かが切り開いてくれると思っていないませんか。
- 一人の意見が、大きな舵取りになることもあります。
あなたは、(公社)宮城県柔道整復師会の会員です。
- どんなことでも結構です、あなたの意見、希望、疑問、情報、なんでもお知らせください。

○投稿 ○電話 ○FAX ○インタビューにうかがいます。

どんな方法でも結構です、一歩前へ！

新入会員紹介

① 氏名 ② 生年月日 ③ 院名 ④ 開設年月日 ⑤ 出身校 ⑥ 出身地 ⑦ 趣味・特技 ⑧ 理念



- ① 高橋 潤
- ② 昭和57年7月22日
- ③ ひだまり整骨院
- ④ 平成25年8月11日
- ⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑥ 山形県天童市
- ⑦ 趣味：映画・DVD鑑賞
特技：テーブルマジック、パズル
- ⑧ 患者さんがいつまでも自分の足で歩けるように治療と指導を行います。



- ① 庄子 拓郎
- ② 昭和60年3月24日
- ③ 整骨院 庄子
- ④ 平成25年8月19日
- ⑤ 仙台接骨医療専門学校
- ⑥ 宮城県仙台市
- ⑦ 映画鑑賞 食べ歩き
- ⑧ 自然治癒力を最大限発揮する治療を目指す。



- ① 鈴木 拓
- ② 昭和60年10月16日
- ③ 整骨鍼灸院ひらく
- ④ 平成25年8月26日
- ⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑥ 宮城県名取市
- ⑦ 旅行、グルメ
- ⑧ さまざまな疾病、ケガの苦痛から患者さまを笑顔にする



- ① 渡邊 涼平
- ② 平成2年3月2日
- ③ もみの木整骨院
- ④ 平成25年9月1日
- ⑤ 東日本医療専門学校
- ⑥ 宮城県仙台市
- ⑦ ドライブ、料理
- ⑧ おもてなしの心や、やさしさ、感謝の気持ちを忘れず、健康のサポートをしつつ、笑顔を広げる整骨院にしていくこと。





- ① 遠藤 友誉
- ② 昭和62年8月12日
- ③ あけの平整骨院
- ④ 平成25年9月1日
- ⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑥ 宮城県加美郡加美町
- ⑦ サッカー、ドライブ
- ⑧ 常に変化のある治療



- ① 内海 友紀
- ② 昭和58年11月21日
- ③ ウッチー接骨院たかさき
- ④ 平成25年10月2日
- ⑤ 仙台接骨医療専門学校
- ⑥ 宮城県
- ⑦ 映画鑑賞
- ⑧ 感謝の気持ちを忘れない



- ① 坂本 孝二
- ② 昭和32年11月28日
- ③ 本田接骨院
- ④ 院長交代 平成25年10月23日
- ⑤ 東日本医療専門学院
- ⑥ 宮城県仙台市
- ⑦ スポーツ全般 釣り(海、溪流)
- ⑧ 地域密着の接骨院。早期治癒を目指す接骨院の確立



- ① 山崎 義太郎
- ② 昭和61年10月2日
- ③ 東松島接骨院
- ④ 平成25年11月11日
- ⑤ 仙台接骨医療専門学校
- ⑥ 宮城県塩竈市
- ⑦ 釣り、柔道
- ⑧ 患者さん目線の治療を心掛けています



訃報



本田 恵之助 会員(享年七十五歳)

(平成二十五年十月十八日没)

入会年月日 昭和五十二年五月十八日

長年の当会への
多大なるご尽力に対し心より感謝し
悲しいお別れに際し
謹んでお悔やみ申し上げます
ご冥福をお祈り申し上げます



SVM活動状況

(平成25年7月1日～平成25年11月30日迄)

依頼団体名	日時	合計
さわやか杯 第16回 宮城県スポーツ少年団柔道の形競技大会	8/25	1
2013年度 スペシャルオリンピックス日本・宮城 バスケットボールプログラム	9/1	1
第3回 宮城県昇段審査会	9/7	1
2013年度 スペシャルオリンピックス日本・宮城 バスケットボールプログラム	9/8	1
宮城ヘルシー 2013 ふるさとスポーツ祭石巻地区大会	9/8	5
第13回 河北新報・石巻かほく杯争奪宮城県少年少女柔道大会	9/8	2
東日本大震災復興祈念 「共に目指そう バリアフリー！」 第13回塩竈市民スポーツフェスティバル	9/8	2
平成25年度 民間指導者育成事業「生涯現役～あなたも心と体のサポーター」	9/14	2
第3回 仙台中央警察署協議会	9/18	1
みやぎ国体開催記念杯 第23回宮城県スポーツ少年団学年別柔道大会	9/23	2
2013年度 スペシャルオリンピックス日本・宮城 バスケットボールプログラム	9/29	1
気仙沼・本吉地区中学校総合体育大会 新人柔道競技	9/29	1
仙台市若林区学区町内連合大運動会	9/29	1
平成25年度 石巻地区中学校新人総合体育大会 第40回石巻地区中学校新人柔道大会	9/29	2
第44回 宮城県警察逮捕術大会	10/3	2
平成25年度 栗原市柔道協会 昇級審査会・昇段審査会	10/6	1
平成25年度 ジュニアブロック合宿及び柔道フェスタ	10/11, 13,14	1

依頼団体名	日時	合計
第38回 宮城県防具付空手道選手権大会	7/7	1
第35回 山下旗柔道大会	7/7	2
塩竈市父母教師会連合会球技大会	7/7	2
平成25年度 民間指導者育成事業「生涯現役～あなたも心と体のサポーター」	7/13	2
第60回 記念 登米・栗原対抗柔道大会	7/14	1
志波彦神社・塩竈神社奉納 第52回御神旗争奪 少年剣道錬成大会	7/14	1
平成25年度 民間指導者育成事業「生涯現役～あなたも心と体のサポーター」	7/27	2
第2回 宮城県昇段審査会	7/27	1
塩釜神社杯 バレーボール大会	7/28	2
第18回 松島マリンカップジュニアユースサッカーフェスティバル	7/28	1
明神社奉納相撲大会 石巻わんぱく相撲大会	8/9	1
平成25年度 民間指導者育成事業「生涯現役～あなたも心と体のサポーター」	8/10	2
出張! 元気応援教室(二次予防 普及啓発)	8/17	2
第26回 仙台市スポーツ少年団学年別柔道大会	8/18	1
平成25年度 民間指導者育成事業「生涯現役～あなたも心と体のサポーター」	8/24	2
みやぎヘルシー 2013 ふるさとスポーツ祭登米地区大会	8/25	1
みやぎヘルシー 2013 ふるさとスポーツ祭栗原地区大会	8/25	1

依頼団体名	日時	合計
第20回 宮城県北・岩手県南柔道スポーツ少年団 交流大会	11/23	1
第20回 やまびこ杯争奪少年フットサル交歓大会	11/23	1
2013年度 スペシャルオリンピックス 日本・宮城 バスケットボールプログラム	11/24	1

依頼団体名	日時	合計
第33回 飛翔杯柔道大会	10/13	4
第12回 気仙沼市空手道交流大会	10/13	1
第42回 名取市民スポーツ祭 健康づくりトータルスポーツ大会	10/14	2
2013年度 スペシャルオリンピックス 日本・宮城 バスケットボールプログラム	10/20	1
第67回 県民体育大会柔道競技 平成25年度 宮城県柔道段別選手権大会(四段以下) 平成25年度宮城県高段者柔道大会(五段以上)	10/20	1
第25回 みやぎの・まつり	10/20	6
若林区ふるさとまつり 健康づくりフェスティバル	10/20	3
第36回宮城県スポーツ少年団柔道交流大会さわやか杯宮城県スポーツ少年団女子柔道交流大会 (兼第33回スポーツ少年団東北ブロック柔道交流大会県予選)	10/27	2
震災復興祈念 第36回 気仙沼市長杯少年柔道大会	11/3	1
第7回 綱引き大会	11/4	2
平成25年度 民間指導者育成事業 「生涯現役～あなたも心と体のサポーター」	11/9	2
第29回 宮城県中学校新人柔道大会	11/9	2
2013年度 スペシャルオリンピックス 日本・宮城 バスケットボールプログラム	11/10	1
第4回 宮城県昇段審査会	11/10	1
出張!元気応援教室(二次予防 普及啓発)	11/16	2
第29回 宮城県柔道団体優勝大会	11/17	1
平成25年度 宮城県学年別柔道チャンピオン大会	11/17	2

平成25年7月～平成25年11月 会務報告

9 月		8 月		25年 7 月				
1	日	はればれ教室(石巻市)	1	木	「いい日いい汗栄養まつり」説明会	1	月	東北ブロック会準備会
2	月	東北厚生局柔整師個別指導立会	2	金	療養費審査委員会分離開催に伴う打合せ会	2	火	保険個別指導
3	火	手書き会員レセ提出締切日 公益法人担当者説明会	3	土	手書き会員レセ提出締切日	3	水	手書き会員レセ提出締切日 会館地鎮祭
4	水	東北厚生局柔整師個別指導立会	4	日	柔体操指導者講習会in東京	4	木	元気応援教室意見交換会 宮整マスター修正作業
5	木	月初送金日	5	月	月初送金日 はればれ教室説明in石巻市役所	5	金	月初送金日 東北厚生局個別指導立会
6	金	レセコン会員レセ提出締切日	6	火	レセコン会員レセ提出締切日 新入会員保険勉強会	6	土	レセコン会員レセ提出締切日 新入会員保険勉強会 仙台市委託事業元気応援教室 北海道大会前夜祭
7	土	東北ブロック会4部会及び会長会 柔道選手合同練習 仙台市委託事業元気応援教室	7	水	独立会員面接1名	7	日	日整学術大会北海道
8	日	新入会員保険勉強会	8	木		8	月	
9	月	会館建設工事第2回全体会議 県医療整備課医務班訪問	9	金	会館建設工事第1回全体会議	9	火	
10	火	損保料率機構(自算会)情報交換会 顧問秋葉議員との勉強会	10	土	はればれ合同委員会事前研修 in赤門国分町校舎	10	水	新入会員面接1名
11	水	新入会員面接1名	11	日		11	木	はればれ石巻教室開催第1回事前会議 東北ブロック大会準備会議
12	木	独立会員面接1名 審査委員会国保・協会健保)レセ提出	12	月		12	金	広報部会
13	金	民間放送療養費請求の件での訪問	13	火	新入会員面接2名	13	土	仙台市委託事業元気応援教室
14	土	仙台市委託事業元気応援教室	14	水		14	日	
15	日	40回日整親善ゴルフ大会夕食会	15	木	審査委員会(国保・協会健保)レセ提出	15	月	
16	月	40回日整親善ゴルフ大会中止(台風)	16	金	協会健保療養費審査委員会	16	火	三本菅公認会計士経理精査
17	火	国保連合会療養費審査委員会 月報精査:公認会計士	17	土		17	水	柔道整備療養費審査委員会 東北ブロック大会準備会議
18	水	協会健保療養費審査委員会	18	日		18	木	事業部会
19	木		19	月	国保連合会療養費審査委員会 保険関連打合せ会	19	金	東北ブロック会第4回理事会 東北厚生局個別指導立会
20	金	三役会・第5回理事会	20	火		20	土	H25年度東北ブロック会柔道大会 宮城県大会懇親会 仙台市委託事業元気応援教室
21	土	仙台市委託事業元気応援教室 「柔道整備学」構築研究委員会	21	水		21	日	H25年度公社日整第34回東北ブロッ ク学術大会宮城大会
22	日		22	木	公認会計士による会計精査 介護企画推進室企画会議 ブロック経理関係打合せ	22	月	
23	月		23	金	健保連訪問	23	火	独立会員面接2名
24	火		24	土		24	水	新入会員面接1名
25	水	顧問土井議員国政報告会	25	日		25	木	顧問森山弁護士訪問 櫻田会長
26	木	保険部会(返戻レセ確認作業)	26	月	広報に関する会議	26	金	第2回理事会・監査会・評議委員会
27	金	健保連宮城との打合せ	27	火	保険部会(返戻レセ確認作業) 気仙沼市へ挨拶訪問	27	土	仙台市委託事業元気応援教室 「柔道整備学」構築研究委員会 電子書籍打合せ会
28	土	仙台市委託事業元気応援教室 顧問愛知議員国政報告会	28	水		28	日	はればれ教室気仙沼会場下見
29	日		29	木	事業部会	29	月	保険部会(返戻レセ確認作業)
30	月	月末送金日・連絡袋発送 保険関連個別面談	30	金	月末送金日・連絡袋発送	30	火	日整HP打合せ はればれ(企画室会議) 復興庁説明会
			31	土		31	水	月末送金日・連絡袋発送 JA共済連打合せ

11 月			10 月		
1	金		1	火	保険関連個別面談
2	土	仙台市委託事業元気応援教室 研修試験財団25周年記念式典	2	水	東北厚生局との執行部打合せ会
3	日	群馬県45周年記念式典	3	木	手書き会員レセ提出締切日 事業部会
4	月		4	金	
5	火	手書き会員レセ提出締切日 月初送金日	5	土	仙台市委託事業元気応援教室
6	水	レセコン会員レセ提出締切日 新入会員保険勉強会	6	日	レセコン会員レセ提出締切日 はればれ教室(気仙沼市) 日整保険部長会議
7	木	第3回監査会 全国健康保険協会宮城支部第2回事務 打合せ会	7	月	月初送金日 日整業界説明in東北柔専
8	金	介護企画会議 JA共済連打合せ会	8	火	新入会員保険勉強会 会館建設工事第3回全体会議
9	土	仙台市委託事業元気応援教室 日整学術大阪大会夕食会	9	水	全国地域安全運動宮城県大会 新入会員面接1名
10	日	日整学術大会大阪 宮整ゴルフ愛好会Gコンペ	10	木	
11	月		11	金	保険部会
12	火	安全学校業務運営会議	12	土	仙台市委託事業元気応援教室 卒後臨床研修in仙台医健
13	水	審査委員会(国保・協会健保)レセ提出	13	日	日整学術講習会・生涯学習会 東北ブロック会柔道選手壮行会
14	木		14	月	日整全国柔道大会 (少年・少年形・大人)
15	金	国保連合会療養費審査委員会	15	火	審査委員会(国保・協会健保)レセ提出
16	土	仙台市委託事業元気応援教室	16	水	国保連合会療養費審査委員会 総会・保険研修会打合せ会
17	日	介護保険研修会	17	木	
18	月	協会健保療養費審査委員会	18	金	協会健保療養費審査委員会
19	火	看護協会会長を表敬訪問	19	土	第55回宮城大会監査 東北ブロック会第5回理事会 仙台市委託事業元気応援教室
20	水		20	日	臨時総会・保険全体研修会 SVM地域代表者会議 柔整スクール事前会議
21	木	三本管公認会計士経理精査	21	月	健保連宮城打合せ
22	金		22	火	会館建設工事第4回全体会議
23	土	仙台市委託事業元気応援教室 いい日いい汗染まつり 接骨医学会第22回学術大会in東京	23	水	新入会員面接1名
24	日	接骨医学会第22回学術大会in東京	24	木	健保連宮城打合せ 公認会計士経理精査
25	月	会館建設工事第6回全体会議	25	金	健保組合訪問説明
26	火	はればれ教室総括会議開催	26	土	仙台市委託事業元気応援教室 卒後臨床研修in仙台医健
27	水	都柔接会へ研修 保険部会(返戻レセ確認作業)	27	日	栄養士会生涯学習研修会講師派遣
28	木		28	月	
29	金	第3回JIMTEF災害医療研修コース 月末送金日・連絡袋発送	29	火	健保連宮城との情報交換会
30	土	第3回JIMTEF災害医療研修コース 学術部会	30	水	仙台接骨医療専門学校包帯巻きコン テスト
			31	木	月末送金日・連絡袋発送

宮城県「柔道整復学」構築学会 賛助会員

株式会社 エス・エス・ビー

株式会社 カナケン

株式会社 グローバー

日本プロジェクト 株式会社

燦ケアサービス 株式会社

株式会社 パールシャープ仙台

ダイヤ工業 株式会社

ミナト医科学 株式会社

株式会社 OA.システムシャープ

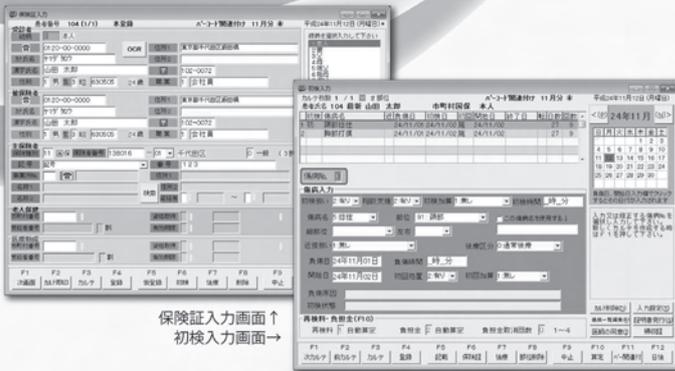
宮城県「柔道整復学」構築学会の活動をご理解頂き、学会を支えて頂く賛助会員各社でございます。

宮城県「柔道整復学」構築学会は、会員の皆様が、レセプトシステム・超音波診断装置・医療機器・衛生材料・医薬品のご用命の際には、宮城県「柔道整復学」構築学会として、賛助会員各社を会員の皆様に推奨致します。

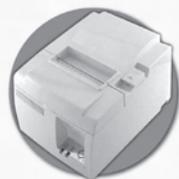
宮城県「柔道整復学」構築学会推奨

三四郎くんは、
日本全国で最も多く使われている
接骨院・整骨院専用のレセコンです！

三四郎くんX3



オプションで
更に便利！



使い勝手の良い操作性はもちろん、療養費改正等の保険改正にすばやく対応。
迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。

超音波画像診断装置

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。



日立アロカメディカル
F37
医療機器認証番号：
第 223AABZX00150000 号

その他、様々な機種を取り揃えております。



サムスン電子ジャパン
MySono U6
医療機器認証番号：
第 224AFBZX00078000 号



本多電子
HS-2100
医療機器認証番号：
第 220AABZX00349000 号

日立アロカメディカル
Noblus
医療機器認証番号：
第 224ABBZX00092000 号



最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース <http://www.jusei-news.com/>

SSB 株式会社 エス・エス・ビー
<http://www.sanshiro-net.co.jp/>

【仙台営業所】〒984-0015
宮城県仙台市若林区卸町5-2-10卸町齋喜ビル301号
TEL 022-236-7211 / FAX 022-236-7212

痛

みの治療に新しい提案

即効深部刺激、サーノスだけのPDMウェーブ搭載

KANAKEN

低周波治療器

SARNOS

— サーノス —

低周波治療器

SARNOS (サーノス)

KE-548 **892,500円** (本体価格 850,000円)

(クラスII/特管) 認証番号: 222ALBZX00038000

- 定格電圧: AC100V
- 電源周波数: 50/60Hz
- 電源入力: 100VA
- 最大出力電圧: 130Vpp±20% (500Ω 負荷時)
- 最大出力電流: 70±10mA (500Ω 負荷時)
- 出力周波数: 1.36kHz±10% ~ 1.74kHz±10%
- 出力波形: A、B
- 安全装置: ゼロスタート方式・ストップスイッチ・電源ヒューズ5A
- 本体の寸法: 幅330mm × 奥行351mm × 高さ226mm
- 本体の重量: 約5.2kg
- 保護の形式: クラスI 機器
- 保護の程度: BF形装着部
- 出力チャンネル数: 6



【付属品】

- 電源コード 1本
- アースコード 1本
- 2P-3P交換プラグ 1個
- 導子コード 黄緑橙各2本
- 丸型湿性平導子 黄6個・青6個
- マジックバンド 長3本・短3本
- 添付文書 1部
- 取扱説明書 1部

表層部位から深層部位まで刺激をコントロール。 新開発の『PDM波形』を搭載。

細胞に働きかける

Bio Kanax

マイクロカレント
微弱電流

バイオカナックス

バイオカナックスは、人間が本来持っている自己回復能力を助けることで、静止細胞を活性化し、筋肉を調整、回復、改善させます。

バイオカナックス

KE-525 **892,500円**

(本体価格 850,000円)

プロの要求に応えるプログラム機能搭載

バイオカナックスは生理学的な最新情報にもとづいて、複数の大学医学部を始め、数多くの専門医の研究と協力によって開発された、小型マイクロアンペア治療器です。治療に最適なプログラムと、正確なマイクロアンペアがインプットされており、完璧にコンピュータで制御されています。そのため治療効果が出やすく、効果も長時間持続します。



■仕様

- 定格電圧: DC9V 単一型電池 (1.5V) × 6
- 消費電流: 40mA、出力電流: 28μA ~ 500μA
- 出力電圧: 14mV (500Ω 負荷) MAX=35V
- 出力周波数: 0.1Hz ~ 500Hz、出力系統: 2チャンネル
- 外形寸法: H132 × W320 × D250mm
- 本体重量: 2.3kg
- (クラスII/特管) 医療用具承認番号 21200BZZ00333000

- 独自の4極干渉通電方式
- 痛みを、筋肉系・神経系に分けて治療します。
- 部位を選べば、プログラム治療ができます。
- ワンタッチ選択方式採用により、治療モードは簡単に選べます。
- ディスプレーで、治療状況を把握することができます。

総発売元 **株式会社 カナケン**
本社: 〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
TEL 045-901-5471代 FAX 045-902-9262
http://www.e-kenkou.jp/ E-mail info@kanaken.co.jp

大阪営業所: TEL 06-6935-3016代 FAX 06-6935-3017
新潟営業所: TEL 025-286-0521代 FAX 025-286-8870
福島営業所: TEL 024-961-7211代 FAX 024-961-7221
仙台出張所: TEL 022-287-6273代 FAX 022-287-6218
千葉出張所: TEL 043-286-6466代 FAX 043-286-6366

魔法のバンド

三輪式モビリティトレーニングバンド

モビバン

バンド一つであらゆる運動・引き締め・ストレッチが可能。
こんな便利なバンド見たことない!!

5大特長

- 持ち運びが便利
- 手足にはめて伸ばすだけで簡単手軽
- ストレッチエクササイズ
- 3万回耐久、伸縮性テストクリア
- 三つ輪だから負荷を変えられる



ウエストのくびれ ヒップアップ 背中引き締め



肩こり解消 バストアップ 二の腕引き締め

肩甲骨柔軟 肩インナー強化 体幹強化 股関節強化 ストレッチ 股関節柔軟



硬さ
ふつう

定価
¥2,200(¥2,310)



硬さ
やわめ

定価
¥1,900(¥1,995)

Athlete アスリート専用バンドが登場
ライバルに差をつけろ!!
輪が大きくて下半身にも使いやすいモデル

ランニング&サッカー専用
品名:ATHLETE エリート サイクル
重量:200g(標準重量:170g)
長さ:シングル・ダブル・トリプル・50cm
カラー:黒・赤・青・白・黄・紫・緑・オレンジ・ピンク
JAN:4503135010117

ベースボール専用
品名:ATHLETE エリート サイクル
重量:200g(標準重量:170g)
長さ:シングル・ダブル・トリプル・50cm
カラー:黒・赤・青・白・黄・紫・緑・オレンジ・ピンク
JAN:4503135010118

バスケット&バレー専用
品名:ATHLETE エリート サイクル
重量:200g(標準重量:170g)
長さ:シングル・ダブル・トリプル・50cm
カラー:黒・赤・青・白・黄・紫・緑・オレンジ・ピンク
JAN:4503135010119

医療機器・医薬品・福祉用具・開業支援



GROWBER
株式会社 グローバー

〒981-8002 仙台市泉区南光台南2丁目17-8
TEL022(781)7388 FAX022(781)7389
URL <http://growber-medical.com> E-mail growber@nifty.com

開業・機械入替の予算で
お困りの方は、ご連絡下さい！



総合医療商社

 **日本プロジェクト株式会社**

本 社

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-11-15
TEL 027-253-5818 FAX 027-253-5817

仙台営業所

〒984-0838 宮城県仙台市若林区上飯田2-4-6
TEL 022-282-0944 FAX 022-282-0972

介護は、サンケアサービスにご相談ください！

ケアプラン

介護に対する相談・サービスへの支援・ケアプラン作成など
介護支援専門員(ケアマネジャー)がお手伝いいたします。

「介護」に悩んでいませんか？

一人で悩まずお気軽に
ご相談ください。



- もっと元気になるために定期的にリハビリをしたい!!
- 自宅でお風呂に入りたいのでヘルパーさんに手伝ってほしい!!
- ベッド・車いすなどの福祉用品をレンタルしたい!!

相談は無料です

居宅介護支援事業所 **サンケアプランセンター**

フリーコール **0120-975-539**

ヘルパーサービス

「まごころを大切に」人にやさしいサービスをお届けします。

訪問介護はサンケアサービスにお任せください
(介護保険外サービスも承ります)

生活支援



身体介護



訪問介護事業所 **サンケアサービス**

フリーコール **0120-294-392**

グループホーム・デイサービス・ショートステイ

グループホーム



- 拘束のない家庭的な暮らしをしながら、自分の持てる力を発揮できるようにスタッフが援助いたします。

デイサービス

- おいしい食事・お風呂・笑顔の絶えないレクリエーションなど皆で楽しく過ごしております。

ショートステイ

- 一時的な旅行やご家庭の事情で、介護にお困りの場合にはご相談ください。



小規模多機能型高齢者施設 **サンすまいるしかま**

0229-66-1250

平成22年9月1日新施設オープン！！

黒川郡大衡村に
新施設「サンすまいるおおひら」が
開設いたしました。

グループホーム・デイサービス・ショートステイ **サンすまいるおおひら**

グループホーム **022-739-7543**

デイ・ショート **022-739-7541**

サンケアサービス株式会社

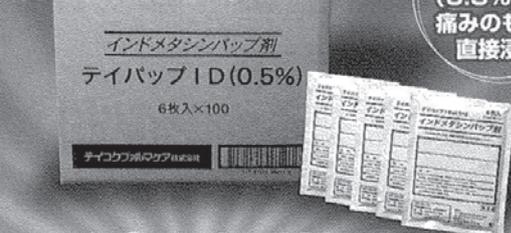
〒981-0912 仙台市青葉区堤町1丁目7-30ザ・キャッスル北仙台1階
TEL022-342-1501 FAX022-272-0821 <http://www.suncare-s.jp>

外用非ステロイド性消炎鎮痛剤

インドメタシン含有製剤 ラインアップ

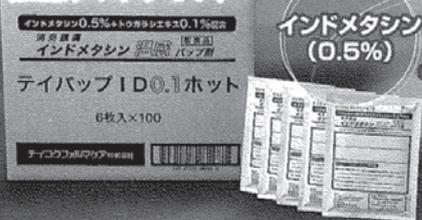
打撲や肩こりなどが起こると、体内にプロスタグランジン類という「炎症反応増強物質」が発生し、痛みを何倍にも増幅します。インドメタシンの仕事は、プロスタグランジンなどの「炎症反応増強物質」の発生を抑え痛みを緩和します。

ティパップID(0.5%) (冷感シップタイプ)



有効成分
インドメタシン
(0.5%)配合
痛みのもとに
直接浸透

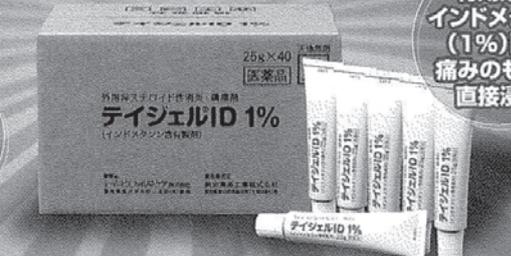
ティパップID0.1ホット (温感シップタイプ)



インドメタシン
(0.5%)

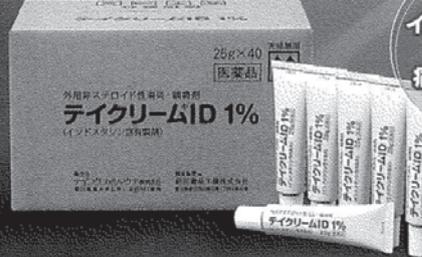
+ トウガラシ
エキス
(0.1%)

ティジェルID1%



有効成分
インドメタシン
(1%)配合
痛みのもとに
直接浸透

ティクリームID1%



有効成分
インドメタシン
(1%)配合
痛みのもとに
直接浸透

ティプラスターID (プラスタータイプ)



有効成分
インドメタシン
(3.75%)配合
痛みのもとに
直接浸透

インドメタシン含有製剤は「第2類医薬品」に分類されます。

インドメタシンの使い分け

- 急性期の炎症が強い患者さん向け
 - ①ティパップID(水分の含有が多く、冷却効果が強い)
 - ②ティジェルID1%(エタノール含有で、清涼感が強い)
- 慢性化した炎症の患者さん向け
 - ①ティパップID0.1ホット
(トウガラシエキス含有で血行を良くする)
 - ②ティクリームID1%(伸びの良い基材使用)

〈お問い合わせ先〉

株式会社 パールシャープ仙台
〒983-0838
仙台市宮城野区二の森12番52号
電話番号 022-291-2366

PHARMACARE®
パールシャープ

帝國製薬グループ
テイコクファルマケア株式会社
香川県東かがわ市三本松567番地

www.teikoku-pc.co.jp

ダイヤ工業では コルセット・サポーターを 取り扱っています!



先生と一緒になら
コルセット・サポーターを
安心して選べます!



先生と一緒になら
自分の体にあつた
コルセット
選びができる。



先生と一緒になら
悩みや状態に
合わせた
コルセットを
安心して選べる。

商品のご要望・ご質問はダイヤ工業までお気軽にどうぞ

bonbone

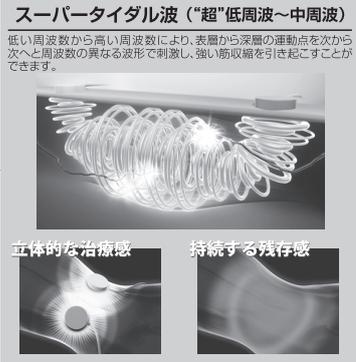
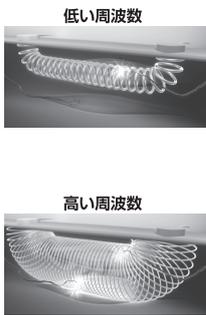
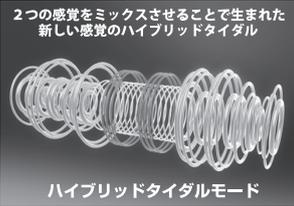
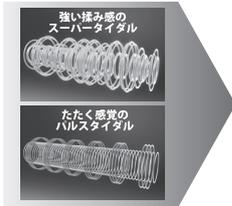
TEL 0120-01-1245 FAX 0120-02-1246

やさしさを、医療を科学する...

MINATO

Hybrid Tidal

スーパータイダルとバルスタイダルを組み合わせた、2種で治療を行うモードです。



NEW

低周波治療器

ポラリスカイン

POLARISKINE

PO-3i・PO-S



管理医療機器 特定保守管理医療機器
認証番号 224ABZX00062000

管理医療機器 特定保守管理医療機器
認証番号 224AIBZX00042000

AQUATIZER

WATER MASSAGE BED QZ-240

ウォーターマッサージベッド●アクアタイザー

アクアタイザーのラインアップに
2+2ノズルと足部エアバッグを搭載した
ハイグレード機種が誕生



アクアタイザーQZ-240が グッドデザイン賞を受賞!

単相電源仕様：
アクアタイザー QZ-240SG
認証番号：224AABZX00057000

三相電源仕様：
アクアタイザー QZ-240TG
認証番号：224AABZX00059000

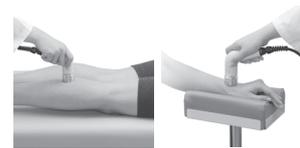
ベッド型マッサージ器
管理医療機器
特定保守管理医療機器



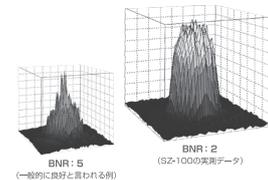
超音波治療器

SONICTIZER

ソニックタイザー SZ-100



トップクラスのBNR



超音波放射を目で確認できる
イルミネーション



管理医療機器
特定保守管理医療機器
認証番号 224AABZX00053000

ミナト医科学株式会社

本社 / 〒532-0025 大阪府大阪市淀川区新北野3丁目13番11号 TEL 06(6303)7161 FAX 06(6303)9765
営業所 / 札幌・仙台・浦和・船橋・東京・多摩・横浜・新潟・金沢・静岡・名古屋・京都・南大阪・大阪・神戸・広島・高松
北九州・福岡・鹿児島

URL <http://www.minato-med.co.jp/>

MINATO MEDICAL SCIENCE CO.,LTD.

OA システム シャープ レセプトヘルパー Part.6

柔道整復師保険請求システム

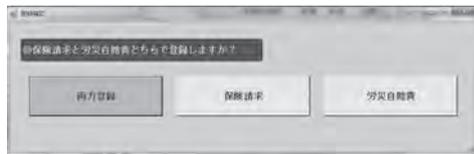
❓ 日々の領収証発行はどうされていますか？

❗ レセプトヘルパーなら大丈夫!! 窓口入力からレシート型、普通紙型で印刷が出来ます。
※レシートプリンターはオプションです。

窓口入力 全ての業務は窓口入力から始まる



- ◆ 保険証内容の確認が窓口入力で可能。
- ◆ 来院状況を 2 ヶ月間表示。
来院間隔の確認が出来ます。
- ◆ 日々の集計はもちろん、月の集計も出来ます。
- ◆ 簡易レジ入力で会計処理も簡単。
レシートプリンターで領収証の自動発行が可能。
領収証の発行管理が出来ます。
(日ごと、月ごと、年ごと)
- ◆ 受付管理で来院の順番やその日の予約患者を画面上で確認が出来ます。



- ◆ 労災自賠責、自由診療を含む全ての患者登録が可能です。
- ◆ 保険証、施術入力の簡易登録が出来ます。
例えば、時間がない場合でも保険証、施術の必要最低限の項目で入力が可能。領収証も素早く印刷出来ます。



- ◆ 保険外の料金も入力が可能。
- ◆ レシートタイプの領収証発行が出来ます。
(レシートプリンターはオプションです)
- ◆ 明細付領収証の印刷も可能です。

❓ ここ最近、患者さんへの調査票が増えていませんか？

❗ レセプトヘルパーなら大丈夫!! 施術状況説明書で保険者等から問い合わせも対応が可能です。

来院状況説明書 患者さんとのコミュニケーションツール



- ◆ 保険診療を明確にする事により自由診療との区別もつけやすくなります。
- ◆ 様々な条件を設定することが可能。
例えば、組合保険向けに一覧から一斉に連続印刷もできます。

主な機能

- 各種証明書発行・・・施術証明、情報提供書、通院証明、学校安全会
- 請求内容チェックリスト・・・レセプト印刷前に入力漏れや間違いを一括チェック
- 患者分析機能・・・性別、年代、地域に加え、曜日別、負傷別平均日数を分析。

その他多数の機能を兼ね備えております。

株式会社 OA. システムシャープ
東京都中野区新井 2-6-5 DSK 情報センタービル 3F
TEL/FAX 03-5343-2531/ 03-5343-2532
mail : info@oasharp.co.jp

宮城県「柔道整復学」構築学会 投稿・発表規定

2008年(平成20年)11月8日制定

1. 投稿・発表について

本学会への投稿及び発表は、原則として宮城県「柔道整復学」構築学会の会員に限るが、特に本会に寄与する論文と判断され、本会の会員が1名以上の共著者となっていれば会員外の投稿及び発表も受理します。

以下の6つのポイント(約束事、常識)をふまえて、しかも積極的に、気軽にどうぞ公にしてください。

1997年(平成9年)、第6回日本柔道整復接骨医学会総会時の、金城 孝治会長の講演にありました言葉、「職域拡大には・・・医療知識と技術の向上によってのみ可能である」は、今こそむしろ大切かと思えます。

2. ケースレポートの仕方

- ① ケースレポートをする意義は；
 - i) 非常にめずらしい(レアrare)疾患の場合
 - ii) めずらしい疾患ではないが、特異な経過・転帰をたどったケース
 - iii) 治療・施術への反応が独特であったケース
 - iv) 新治療法・技術の開発・試行・実験治療を行ってみた場合の効果
 - v) 非常に、取り扱いや施術・治療・リハビリに苦慮したケース
- ② どこか誰であるかが推定できそうな表現は絶対不可(個人情報保護)です。
症例1、症例2などとします。
- ③ この場合も、症例のデータ(写真など)について、自分(達)のものでない場合には、借用先を明記して下さい。

3. データのまとめ方

- ① X線、MRI、その他全てのデータについて、自分(達)が採取したものでない場合には、借用先を明記して下さい。(著作権の問題)
- ② データの計数が1ケタ(5例、8例など)の場合に、安易に平均値(代表値の1つ)を出しますと片寄った値になることがあります。その場合には中央値の方が妥当です。
- ③ 各症例について、誰であるか見当がつきそうな表現はなさないように(個人情報保護)して下さい。
表記は、例えば症例1、症例YZなど。

4. 発表要旨(抄録)の書き方

- ① 5W1H (when いつ、where どこで、who 誰が、what 何を、why どんな目的で、how どのように)が分かるように書いて下さい。
- ② <目的><方法><結果><考察><結論>の順に、要領よく短くまとめます。<結果>には、得られた事実のみを書きます。
- ③ 文章は全て「～であった」「～となった」の、である調、過去形となります。

- ④ 発表者としての主語を入れる必要がある場合には、「われわれは～」「演者らは～」などと書きます。
- ⑤ 原稿は、パソコンのワープロソフトなどで作成し、A4版用紙に横書きとします。手書原稿は採用しません。

5. 執筆要綱

投稿論文の種類と内容説明

- 原著論文 : 新規かつオリジナルであることが構築研究委員会において認められたものです。
内容が新しい情報、理論の提示を通して独創性を主張できるものです。
明確な研究結果として一定の結論が得られたものです。
- 症例報告 : 症例の臨床経験に基づいた研究をおこなって考察が得られたものです。
- 研究資料 : 柔道整復、あるいはそれに関連した資料を主とした情報を提示したものです。
- 短 報 : 内容は原著に近いが短く結論の速報として書いたものです。
- 治療技術 : 客観的情報を示し、オリジナル性の高いものです。
- そ の 他 : 柔道整復に関する多方面からの記事を含み、会員の質的向上に貢献できるものです。

6. 論文の構成

- 表 題 : 内容を具体的に表し、かつ簡潔な表現とします。
用語には、キーワードを含むように工夫して下さい。
- 著 者 名 : 著者は本研究に寄与するところの大きい人のみとします。
研究の協力者は謝辞の中で記載して下さい。
- 要 旨 : 目的、方法、結果、結論を簡潔に記載して下さい。
- キーワード : 主に主題および要旨から選び、論文の内容を最も適切に表す言葉とします。
- 本 文 : 1) はじめに(序文、まえがき、緒言)
本研究の背景、経緯、意義などを述べる導入部分。
これまでの研究との関連性を記載します。
- 2) 対象および方法
用いた理論、条件、材料、方法、手順などを記載します。
特に、方法は関連研究者が追試できる内容とします。
- 3) 結果
実験結果、データ紹介、明らかとなった関連性、観察結果、効果などを記載します。
- 4) 考察
結果の分析と検討、結果の比較と評価、問題提起、今後の課題、示唆などを記載します。
- 5) 結論(まとめ、結語)
本研究の結果内容を簡潔に記載します。
- 図・写真・表 : 本文に示した順に掲載し、その図表の番号や説明は図では下に、表では上につけて下さい。
- そ の 他 : 原稿には一連のページ数を記載して下さい。

7. 発表の仕方

- ① パワーポイント、スライドなど、視聴覚メディアをうまくお使い下さい。
- ② 発表時間の厳守
例) 8分間→400字詰原稿用紙8～9枚
10分間→400字詰原稿用紙10～11枚です。
- ③ 慣れていない方は、必ず発表用の下書き原稿を②に合わせて書くことをお勧めします。ルーズに進めると、必ず結論へ行かない前に終わってしまいます。
- ④ ここでも5W1Hを要領よく入れて下さい。

8. 提出

発表原稿、発表時使用データの提出は、所定の期日までに刷り上り（プリント）1部に、原稿のファイルを書き込んだ電子媒体（フロッピーディスク、CD-R、USBなど）を添えて、事務局宛に送付して下さい。又は、E-mailで事務局宛にファイルを直送して頂いても構いません。但し、使用ソフトやファイル形式については、事前に受理可能かどうか事務局に確認して下さい。投稿原稿、発表時使用データ及び記録媒体は返却しません。

9. 校正

校正は著者が責任を持って行い、校正後の原稿、データを投稿して下さい。

10. 送付先

「学会誌原稿、発表データ」と朱書して、下記に送付下さい。

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉二丁目9番8号
公益社団法人宮城県柔道整復師会 内
宮城県「柔道整復学」構築研究委員会 事務局
TEL：022-262-9181 FAX：022-262-4181
E-mail：mjs@mjs.or.jp

編／集／後／記

早いもので師走のせわしい時期となりました。不思議なもので、歳を重ねるごとに過ぎ去る時間の速さを感じます。

今年も様々な出来事がありました。が、残念なニュースとしては相次ぐ食品偽装問題がありました。一部の業界関係者間では慣習としてまかり通っていることも、常識に照らし合わせるとう偽装という結果になりました。結果として残ったのは外食産業への不信感ではないでしょうか。

柔道整復師にとってもこの件は対岸の火事ではなく、他山の石となるように自己点検をする必要があるのではないのでしょうか。明文化されている療養費取扱い規定を常識の目で見直し、より国民生活に資する存在になるように各位の自覚、努力が求

められるでしょう。

くる年が皆様にとりましてより良い一年となりますようにご祈念申し上げます。編集後記とさせていただきます。

宮整広報 編集部

公益社団法人 宮城県柔道整復師会

宮 整 広 報 No.94

平成25年12月27日

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉二丁目9番8号

TEL 022(262)9181 FAX 022(262)4181

Home Page <http://www.mjs.or.jp>

発行者 会長 櫻田 裕
編集 広報部担当理事 尾形 謙
広報部員 主任 枝村正実
委員 佐藤浩一 目黒喜浩

印刷所 (資) 芳賀美術印刷
〒980-0003
宮城県仙台市青葉区小田原七丁目7番13号
TEL 022(222)4225(代)
FAX 022(222)4228